

## 地方創生SDGs推進による新型コロナウイルスの影響への取組事例（2018年度SDGs未来都市）

通番	自治体名	取組名	ページ 番号
1	北海道ニセコ町	「ニセコ町買物相談・配達代行等支援」事業	5
2	北海道下川町	雨にも負けずコロナにも負けぬ 下川町飲食店応援クラウドファンディング	6
3	宮城県東松島市	東松島市出身学生応援事業	7
4	秋田県仙北市	新規事業継続チャレンジ支援事業	8
5	茨城県つくば市	クラウドファンディングにより4つのつくば市事業者応援チケット事業を実施	9
6		休校中の児童生徒の自主学習支援「つくば子どもクエストオンライン」の実施	10
7	神奈川県	特設HP（SDGsアクションで新型コロナウイルス感染症を乗り越えよう）の開設	11
8	神奈川県横浜市	SDGs biz サポート事業	12
9	神奈川県鎌倉市	飲食店支援クラウドファンディング「#鎌倉応援チケット」	13
10	富山県富山市	農林水産業向け「#コロナ転職」プロジェクト	14

## 地方創生SDGs推進による新型コロナウイルスの影響への取組事例（2018年度SDGs未来都市）

通番	自治体名	取組名	ページ 番号
11	静岡県浜松市	天竜材で3密対策しませんか-新しい生活様式支援天竜材活用事業-	15
12	愛知県豊田市	SDGs × 新しい生活様式 「ミライのフツーをつくらうプロジェクト」	16
13	三重県志摩市	「ささえあいSHIMAしょう！！」（支援制度など）	17
14	大阪府堺市	施設入所者と家族等とのデジタル面会の支援 ～「しゃべる機会」の確保によるフレイル予防～	18
15	岡山県岡山市	特設HP「新型コロナウイルスに負けない！！私たちのSDGsアクション」の開設	19
16		エコテイクアウト推進事業	20
17	岡山県真庭市	真庭市SDGs市内交流事業 まにわを知ろう！バスツアー	21
18		うち（真庭）de食べ～の	22
19	徳島県上勝町	SDGs未来都市:上勝町のまちづくりオンライン視察	23
20	福岡県北九州市	北九州市応援寄附金「コロナに負けない、北九州の底力」	24

## 地方創生SDGs推進による新型コロナウイルスの影響への取組事例（2019年度SDGs未来都市）

通番	自治体名	取組名	ページ 番号
21	福島県郡山市	ONE TEAM こおりやま広域圏！「食の応援」掲示板事業	25
22		事業継続応援家賃等補助金	26
23		宿泊・飲食業等応援クラウドファンディング事業	27
24	群馬県みなかみ町	みなかみ町のSDGs！地元を愛そう「MINAKAMI HEARTカード」	28
25	東京都日野市	市内事業者や大学との連携による、適度な外出機会と健康づくり事業	29
26	富山県南砺市	公益財団法人南砺幸せ未来基金による コロナ禍に対する緊急支援	30
27	石川県小松市	未来をひらく子どもへの学びのEール（学習Eール・食育奨励等）	31
28		感染症予防に向けた経営モデルチェンジ支援事業の拡充	32

## 地方創生SDGs推進による新型コロナウイルスの影響への取組事例（2019年度SDGs未来都市）

通番	自治体名	取組名	ページ 番号
29	福井県鯖江市	おうちであわせプロジェクト（テイクアウト・デリバリー専用プレミアム付きチケット販売）	33
30		学校給食費の無償化等事業	34
31		新型コロナウイルス対策グッズ「つくる」と「買う」を応援します！	35
32	愛知県豊橋市	食べ支えプロジェクトを中心とした取組み	36
33	滋賀県	みみタロウキャラバン隊派遣事業（多文化共生推進事業）	37
34		WEB合同企業説明会開催事業	38
35	京都府舞鶴市	「Buy Local maizuruキャンペーン」推進事業	39
36	奈良県三郷町	地域の魅力発信と地域活性化事業	40

# 「地方創生SDGs推進による新型コロナウイルスの影響への取組事例」 調査票

## 「ニセコ町買物相談・配達代行等支援」事業

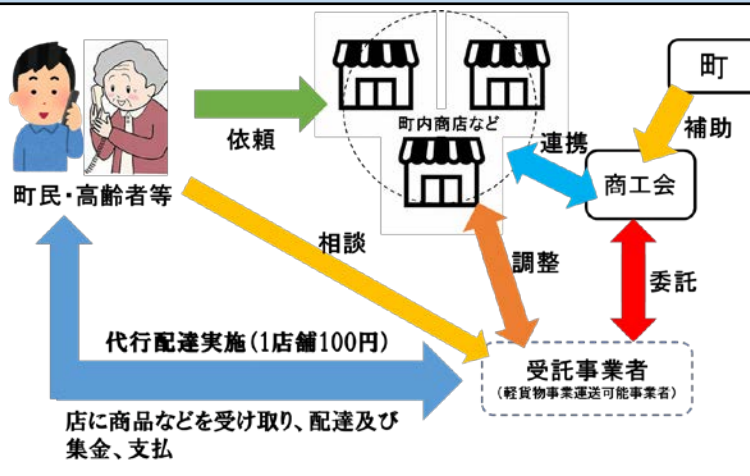
自治体名：北海道ニセコ町

<b>1.取組タイプ</b>		<b>2.地域課題・実施目的</b>	コロナ禍を通して、基幹産業のひとつである観光業を中心として非常に大きな打撃を受け、地域社会全体に影響が及んでいる。それらを緩和し、持続可能でみんなが幸せに住み続けられる地域、住むことが誇りに思える自治のまち「サスティナブルタウンニセコ」を構築・実現していくため、様々なパートナーシップの基、「経済」「社会」「環境」の3側面で相乗効果を発揮する取組・アクションを展開していく。
I	普及啓発		
○	II 新規プロジェクト	<b>3.取組の概要</b>	新型コロナウイルス感染拡大により飲食事業者を中心として営業自粛や営業低迷など、苦しい状況が続いている。一方で、消費者も新型コロナウイルス感染の恐れから外出を自粛したり、介護や育児により外出機会が減っていたりする。そこで、町内消費者に対して町内商店やデリバリー、テイクアウトを行っている飲食店などと連携し、町民（消費者）の要望に基づき、買物相談、配達代行を行い、町民の買物支援を行う。
○	III 官民連携		
○	IV 市民サービス		
○	V その他		

<b>4.取組の詳細</b>
<p>■お買い物配達代行サービス 全町民を対象とし、町内の対象店舗（商店・飲食店）に電話注文し、代行配達を依頼できる。＜社会＞利用者は外出を伴うことなく感染機会を減らし商品を購入できる他、＜環境＞車ででの外出による燃料代およびCO2排出を抑制し得る。＜経済＞配達代行業者も町内事業者より選定することで、コロナ禍で困窮する町内事業者の収益確保・雇用維持の機会も提供する。更に、他の町独自事業として割引クーポンや商品券も配布するため、併用しての利用により町内での消費を加速させ、地域経済循環を促進していく。</p> <p>■電話でお買い物相談サービス ＜社会＞町内のいわゆる社会的弱者を対象に、コロナ禍での買い物の要望や悩みなどを電話で相談できる窓口を設ける。相談員が困りごとの解決を図り、＜経済＞町内での購入促進によって経済を循環させ、また場合によっては上記配達にもつなげることで、取り組みの相乗効果をはかる。</p>

<b>5.取組の活動予定・スケジュール</b>
実施の呼びかけ：令和2年5月～ 事業者、取り扱い店舗募集 実施期間：令和2年6月16日(火)～令和2年12月25日(金)まで

<b>6.関連するゴール</b>	
------------------	---

<b>7.取組イメージ</b>	
 <p>町民・高齢者等 → 依頼 → 町内商店など → 連携 → 町 → 補助</p> <p>町内商店など → 相談 → 町 → 委託 → 受託事業者 (軽貨物事業運送可能事業者)</p> <p>町内商店など → 調整 → 町 → 委託 → 受託事業者</p> <p>町内商店など → 代行配達実施 (1店舗100円) → 受託事業者</p> <p>受託事業者 → 店に商品などを受け取り、配達及び 集金、支払</p>	<p>有島武郎の遺訓「相互扶助」の元、住民の同士のつながりや新たな経済活動によって地域の魅力を再確認し、住民自治意識の高い地域を目指す。</p>
この取り組みにより、改めて町内事業者と消費者の関わりや住民相互の共助を強め、地域経済の循環と住民自治意識の向上を目指していく。	

<b>関連URL</b>	<a href="https://www.town.niseko.lg.jp/korona/">https://www.town.niseko.lg.jp/korona/</a>
--------------	---

## 雨にも負けずコロナにも負けぬ 下川町飲食店応援クラウドファンディング

自治体名：北海道下川町

<b>1.取組タイプ</b>		<b>2.地域課題・実施目的</b>	新型コロナウイルス感染症の影響により、下川町においても様々なイベントや催しが中止になっている。とりわけ飲食店等は、営業時間の短縮や休業などにより、苦境に立たされている。このような状況を打開するため、クラウドファンディングを立ち上げ、コロナ禍に負けずに奮闘している飲食店の支援を行う。
	I 普及啓発		
○	II 新規プロジェクト	<b>3.取組の概要</b>	地域応援型のクラウドファンディングサービスである「ACT NOW」を活用し、下川町飲食店応援クラウドファンディングを実施する。約一か月間、ウェブサイト上で支援を募集し、集まった支援金は、町内参加店舗へ均等に配分する。
○	III 官民連携		
	IV 市民サービス		
	V その他		

### 4.取組の詳細

**取組のポイント**

他地域でも「お食事チケットを発行する」という返礼品を用意して支援を集めているクラウドファンディングは、たくさんあるが、下川町では**7つの目標(右図参照)**にもある「誰一人取り残されない」ということを念頭に置き、賛同して名前を連ねてくれた町内の飲食店全店に、なるべく支援が行き渡るよう、投げ銭方式のリターンを用意している。「お食事チケット」は発行されないが、今回クラウドファンディングに参加している店舗に、支援者の名前を6ヶ月、もしくは2年間掲示する（他にも支援金に応じてリターンあり）。

### 5.取組の活動予定・スケジュール

5月15日 プロジェクト募集スタート  
 6月30日 プロジェクト募集終了  
 7月中旬～下旬（予定）


- 参加店舗に支援金を振り込み
- ご支援いただいた方にお食事券を送付
- ご支援いただいた方にお礼のメッセージ、しかもかわプチギフトBOXを送付
- 参加店舗に氏名または企業名を掲示
- ホームページで氏名または企業名をご紹介

### 6.関連するゴール



### 7.取組イメージ



SDGs達成に向けた取組として、下川町独自のまちづくりの指標となる「2030年における下川町のありたい姿」を、地域住民と行政の協働のもと策定。7つの目標を言語化し、実現を目指している。



「2030年における下川町のありたい姿」(7つの目標)

コロナ禍でもできることを考え、「誰ひとり取り残されず、しなやかに強く、幸せに暮らせる持続可能なまち」を目指していく。

支援の流れ



# 「地方創生SDGs推進による新型コロナウイルスの影響への取組事例」 調査票

## 東松島市出身学生応援事業


自治体名：宮城県東松島市

<b>1.取組タイプ</b>		<b>2.地域課題・実施目的</b>	コロナ禍により、学生の帰省は困難となり、地元業者の売上は減少した。質の高い教育を受けた人材の確保と産業基盤の強化は、人口流出と経済の停滞という地域課題の解決に資する。このような判断から、市出身学生に地元業者から調達した特産品等を送付することで、学業継続と経営維持を支援し、学生のUターン・定住促進、地域経済の活性化を図ることとした。これにより、社会・経済が調和する持続可能なまち、全世代に住みよいまち「全世代グロウアップシティ東松島」（SDGs未来都市計画）を目指す。
<input type="radio"/>	I 普及啓発		
<input type="radio"/>	II 新規プロジェクト	<b>3.取組の概要</b>	学生に特産品等を送付するとともに移住定住の情報やイベント案内等も提供。特産品は地元業者から購入。
<input type="radio"/>	III 官民連携		
<input type="radio"/>	IV 市民サービス		
<input type="radio"/>	V その他		

### 4.取組の詳細

- 対象者：宮城県外に住む東松島市出身の学生（大学生、短大生、専門学校生）。対象人数約330人。
- 申込方法：学生本人または保護者からのメールまたは電話。
- 送付物：東松島市特産品（右写真）、市長のメッセージ、市報、東松島市SDGsパンフレット等。
- その他：市内の地場産品取扱業者から特産品を購入。

- ・学業の継続を支援。
- ・学生のUターン、定住を促し、地元で活躍できる人材を確保。
- ・地元事業者の経営を支援。



↓

「全世代グロウアップシティ東松島」を目指す！

### 5.取組の活動予定・スケジュール

申込受付：令和2年5月15日から開始。  
 送付実績：令和2年6月以降、約100人の学生に送付済み。  
 事業期間：年度内で当分の間継続する。

### 6.関連するゴール





### 7.取組イメージ

<東松島市特産品> 海苔ざる中華そば、長寿味噌ラーメン、牛タンカレーなど



学生の支援、地元事業者の支援を図ることで、住み続けられるまちづくりを目指す。

**関連URL** <http://www.city.higashimatsushima.miyagi.jp/index.cfm/22,25168,71,html>

## 新規事業継続チャレンジ支援事業

自治体名：秋田県仙北市

<b>1.取組タイプ</b>			<b>2.地域課題・実施目的</b>	新型コロナウイルスの影響により、観光・宿泊業は大きな打撃を受けている。桜の名所でも知られる仙北市は、3～5月にかけて多くの観光客が訪れるが、県外への移動自粛や各種イベントの中止などにより、飲食店の休業に加え、市全体の宿泊者数は前年同期比92.4%減とその影響は計り知れない。このようなコロナ渦において、事業者の新型コロナウイルス対策の費用や新たな取り組みの費用を一部助成することで、各事業者の派生的な支援に繋げ、官・民連携してSDGsゴール目標8、17の達成を目指していく。
○	I	普及啓発		
	II	新規プロジェクト		
○	III	官民連携		
	IV	市民サービス		
	V	その他	<b>3.取組の概要</b>	新型コロナウイルス対策に関連した費用や新たな取り組みの費用を一部助成することで、各事業者の支援の輪を上げ、官・民連携してSDGsゴール目標8、17の達成を目指す。

### 4.取組の詳細

#### ◆新規事業継続チャレンジ支援事業

- ①施設等の消毒や清掃衛生備品等の調達
- ②売上向上や消費喚起に向けた事業実施
- ③販路開拓、生産性向上、事業継続の取組経費
- ④ 3密回避を図るための取組

⇒上記の取組を行う市内事業者に対し経費の一部を助成する。

助成率：1/2以内 助成上限：10万円

### 5.取組の活動予定・スケジュール

6月末 申込み受付開始。令和3年3月末まで。

※本事業の他、各種事業者支援策を策定中。

### 6.関連するゴール



### 7.取組イメージ

コロナの影響を受けた事業者



新型コロナウイルス対策・新たな取り組みにかかる費用



経費の一部を市が助成



事業者を支援  
地域経済の活性化を目指す

SDGsの推進加速



### 関連URL

<https://www.city.semboku.akita.jp>



# 「地方創生SDGs推進による新型コロナウイルスの影響への取組事例」 調査票

## クラウドファンディングにより4つのつくば市事業者応援チケット事業を実施

自治体名：茨城県つくば市

<b>1.取組タイプ</b>		<b>2.地域課題・実施目的</b>	新型コロナウイルスにより影響を受ける市内事業者が多岐に渡るため、事業者種別ごとに分けて4つ（飲食店、生活関連サービス、筑波山観光地、旅客運送）の応援チケットクラウドファンディングを実施する。各クラウドファンディング終了後の早期資金振込により、事業者の支援を行う。
	I 普及啓発		
○	II 新規プロジェクト	<b>3.取組の概要</b>	市内事業者を応援するため、将来使用できるチケットを販売し、その売り上げを事業者にお渡しする。クラウドファンディングはつくば市事業者応援チケット実行委員会が実施。支援者には、市から購入金額の2割を上乗せしたチケットを発行する。また、チケット発行無しの支援のみも受け付ける。
○	III 官民連携		
	IV 市民サービス		
	V その他		

### 4.取組の詳細

つくば市では、「誰一人取り残さない」包摂性の精神から、新型コロナウイルス感染症で売上減等の影響を受ける飲食店を始めとし、日常生活に密着した生活関連サービス、地域の足となる旅客運送業、筑波山を中心とした観光地の4つのクラウドファンディングを並行して実施している。

クラウドファンディング実施主体である「つくば市事業者応援チケット実行委員会」は観光コンベンション協会及び文化振興財団、つくば市で構成されており、その他部会員として関連する事業者が入っている。

経済と社会を結びつけ、双方の課題を解決して相乗効果を生み出す地方創生SDGsの取り組みといえる。

### 5.取組の活動予定・スケジュール

#### クラウドファンディング実施期間

つくば市飲食店応援チケット：5月2日（土）～6月19日（金）

筑波山観光地応援チケット：5月26日（火）～7月7日（火）

つくば市生活関連サービス応援チケット：5月27日（水）～7月8日（水）

つくば市旅客運送業応援チケット：6月15日（月）～7月27日（月）

**各チケット使用可能期間** 2020年8月～2021年2月28日

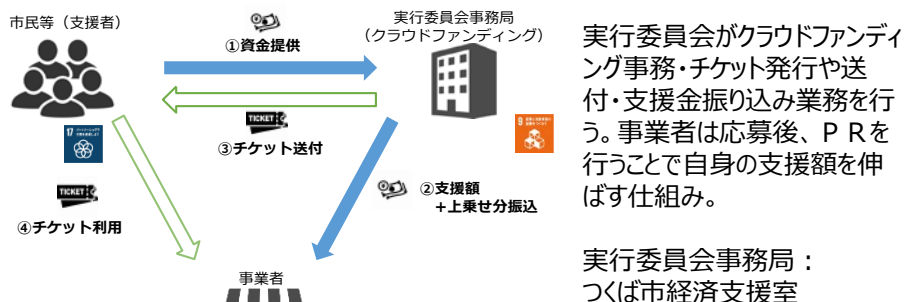
※一部チケットのみ期間の違いあり。

※新型コロナウイルス感染症の状況によりチケット利用期間を変更する可能性あり。

### 6.関連するゴール



### 7.取組イメージ



**つくば市事業者応援チケット** **現在販売中!**

つくば市旅客運送業応援チケット 7/27まで **New**

筑波山観光地応援チケット 7/7まで

つくば市生活関連サービス応援チケット 7/8まで

つくば市飲食店応援チケット 6/19まで **家もなく終了**

### 関連URL

<https://www.city.tsukuba.lg.jp/1012084/1012087/1012438.html>

# 「地方創生SDGs推進による新型コロナウイルスの影響への取組事例」 調査票

## 休校中の児童生徒の自主学習支援「つくばこどもクエストオンライン」の実施

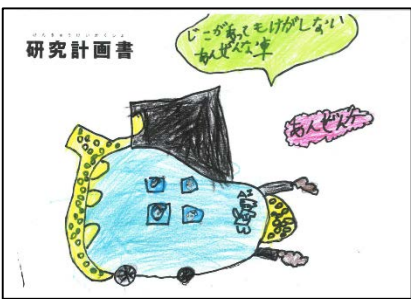
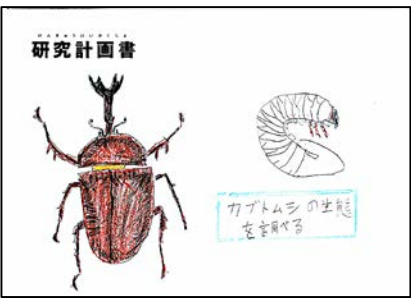

自治体名：茨城県つくば市

<b>1.取組タイプ</b>		<b>2.地域課題・実施目的</b>	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市内小中学校は3月6日より休校となった。市ではこの期間を「ものごとをじっくり考えることができる好機」と捉え、市内で2万人以上働いている研究者等の専門人材と連携することにより、児童生徒への継続的な学び支援をオンラインで実施した。
	I 普及啓発		
○	II 新規プロジェクト	<b>3.取組の概要</b>	児童生徒が、研究計画書をつくりながら自身の興味関心を探求する取組。わからないことはオンラインで質問することができ、「つくば科学教育マイスター」など市内の研究者や司書が専門的見地から回答し、作成をサポート。大学・研究機関等とのネットワークと教育を結びつけた、つくば市ならではのSTEAM教育を実践した。
○	III 官民連携		
○	IV 市民サービス		
○	V その他		

<b>4.取組の詳細</b>
<p>【企画の流れ】</p> <p>①「自由研究計画書ワークシート」「作成ガイド」を特設サイトからダウンロード</p> <p>②ワークシート、ガイドをもとに研究計画書を作成</p> <p>③作成上の疑問点は質問フォームから研究者に質問 →質問はYouTube配信等で研究者や司書が回答</p> <p>④提出された研究計画書から、研究者イチオシの「つくば研究者賞」を選出</p> <p>【詳細】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 対象者：つくば市に在住する小学生、中学生</li> <li>➢ 実施期間：3月6日(金)～3月27日(金)</li> <li>➢ 協力研究者：31名</li> <li>➢ 参加者からの質問：137件</li> <li>➢ YouTube配信：計4回(3月12,13,16,17日)</li> <li>➢ 研究計画書提出：8件</li> <li>➢ 受賞作品：[低学年の部]じこがあってもけがしないあんな車(小1) [高学年の部]カブトムシの生態を調べる(小4)</li> </ul>

<b>5.取組の活動予定・スケジュール</b>
<p>つくばSTEAMコンパスポータルサイトを6月に開設した。</p> <p>今後、夏～秋頃に、「つくばこどもクエストオンライン」を再び実施予定。</p> <p>今年度のポイントとしては、プレゼンテーションを通して他者へ学びをアウトプット、家庭での持続的な学習のための保護者向けガイド本の作成等がある。</p>

<b>6.関連するゴール</b>	
------------------	---

<b>7.取組イメージ</b>
<p>【つくば研究者賞受賞作品表紙】</p> <p>低学年の部</p> <div data-bbox="994 721 1406 1016">  </div> <p>高学年の部</p> <div data-bbox="1477 721 1889 1016">  </div> <p>【YouTube配信の様子（つくば科学教育マイスターによるセッション）】 3/16(月)18時～19時 [出演者：左から] 長屋和宏氏(国総研) 荻原充宏氏(物材研) 高橋将太氏(高工ネ研) 下村正樹氏(産総研) 一ノ瀬俊明氏(国環研)</p> <div data-bbox="1329 1068 1889 1302">  </div>

<b>関連URL</b>	<a href="https://tsukuba-steam.com/kodomo-question/">https://tsukuba-steam.com/kodomo-question/</a>
--------------	---

# 「地方創生SDGs推進による新型コロナウイルスの影響への取組事例」 調査票


## 特設HP（SDGsアクションで新型コロナウイルス感染症を乗り越えよう）の開設

自治体名：神奈川県

<b>1.取組タイプ</b>		<b>2.地域課題・実施目的</b>	感染拡大防止のための外出自粛、休業要請などにより、地域の日々の暮らし、企業の経済活動にも多大な影響を及ぼしている。しかし、この中でも日常生活、企業活動の「持続可能性」が重要。 県内においては、厳しい状況の下でも、テイクアウトやデリバリーなどに取り組む飲食店を応援する動きや、料理・学びなどを通じてオンラインでつながりを生み出す取組みなど、アイデアと行動、パートナーシップというSDGsアクションで課題をともに乗り越えようとする新たな取組みも起きている。 地域の課題解決こそが、国や世界の課題解決につながるとの認識のもと、様々な課題が浮かびあがった今回の新型コロナウイルス禍において、こうした地域における取組みを後押ししながら、持続可能な社会に向けて、SDGsのさらなる推進を図っていく。
○ I	普及啓発		
○ II	新規プロジェクト		
○ III	官民連携		
○ IV	市民サービス		
○ V	その他	<b>3.取組概要</b>	県内各地で取り組まれている様々な活動を市町村、かながわSDGsパートナー、地域のコミュニティ誌等と連携し収集、県のHPに特設ページを開設し、持続可能な社会に向けた取組として発信

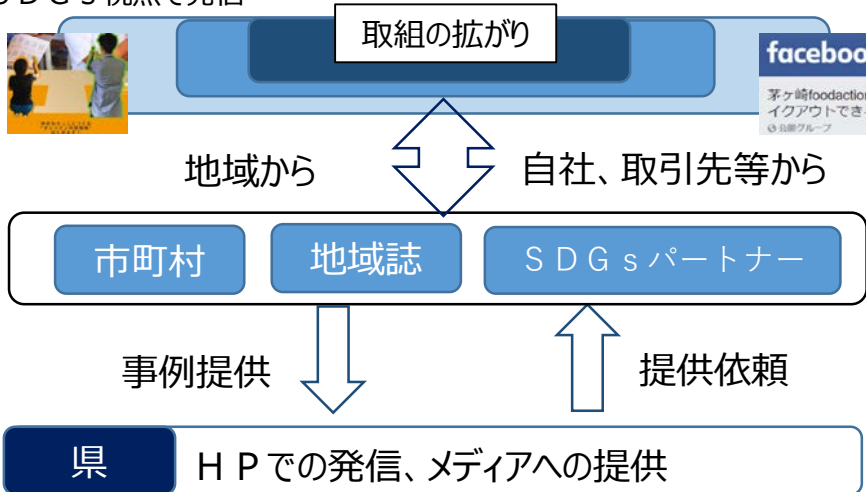
<b>4.取組の詳細</b>
<p>【県のHPに特設ページを開設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナ禍がもたらす様々な課題に対して、<b>新たな（+αの）アクションにより地域の生活を支えている取組を紹介。</b></li> <li>○ 取組は、<b>県内市町村、かながわSDGsパートナー（263社）、地域のコミュニティ誌から紹介</b>いただく。（自薦も可） 掲載に際しては、<b>SDGsのゴールとの関連性を併せて掲載</b>（取り組んでいる方に、示していただく）</li> <li>○ <b>取組の効果</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県民に対して生活に役立つ情報の提供</li> <li>・ 取組そのものの周知・アクセス機会の増</li> <li>・ 同様に困難な状況にある方への事例共有</li> </ul> </li> </ul> <p>→ <b>取組を後押ししながら、持続可能な地域づくりに向けて、SDGsの推進を図る。</b></p>
<b>5.取組の活動予定・スケジュール</b>
4月8日 特設ページ開設、順次案件を追加。段階に応じて、掲載する取組内容を追加 （例 緊急事態宣言解除に伴い、事業の再起促進などの取組を掲載） 終息後に、冊子化等を検討

**6.関連するゴール**



**7.取組イメージ**

課題を乗り越えようとする地域の行動を、市町村等と連携して収集し、SDGs視点で発信



```

    graph TD
        A[取組の拡がり] --> B[地域から]
        A --> C[自社、取引先等から]
        B --> D[市町村]
        B --> E[地域誌]
        B --> F[SDGsパートナー]
        D --> G[事例提供]
        E --> G
        F --> G
        G --> H[県]
        C --> I[提供依頼]
        I --> H
        H --> J[HPでの発信、メディアへの提供]
    
```



# 「地方創生SDGs推進による新型コロナウイルスの影響への取組事例」 調査票

## SDGs biz サポート事業

自治体名：神奈川県横浜市

<b>1.取組タイプ</b>		<b>2.地域課題・実施目的</b>	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、市内事業者のSDGsに関する事業活動も停滞する懸念がある。市内経済を活性化するとともに、SDGs未来都市・横浜を実現するため、SDGsの理念のもと、新型コロナウイルス感染症の危機に対応し、持続可能な経営・成長を目指す市内事業者を支援するため。
	I 普及啓発		
○	II 新規プロジェクト	<b>3.取組の概要</b>	「新しい生活様式」に対応しつつ、環境や経済による新たな価値の創出に取り組む先駆的な事業で、「ヨコハマSDGsデザインセンター金融支援制度」の認証を目指す企業の取組に対して、必要経費の助成を行う。
○	III 官民連携		
	IV 市民サービス		
○	V その他		

<b>4.取組の詳細</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>横浜市では、内閣府で検討中の「地方創生SDGs金融」の動きに連動する形で、ヨコハマSDGsデザインセンター（※）が市内の事業者・市民団体など多様な主体の取組を認証・評価し、資金調達などの金融面での相談・支援を行う「ヨコハマSDGsデザインセンター金融支援制度」創設に向けた準備を進めているところ。</li> <li>一方で、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、市内事業者の経営基盤弱体化とともに、SDGsに関する事業活動も停滞する懸念がある。</li> <li>そこで、前述の「ヨコハマSDGsデザインセンター金融支援制度」に、SDGsの理念のもと、持続可能な経営・成長を目指す、先駆的な取組を行う市内事業者を支援する、市内事業者対象の助成金「SDGs biz サポート事業」を追加して開始する。（補助率1/2、上限額200万円）</li> </ul> <p>※ヨコハマSDGsデザインセンター： 環境・経済・社会的課題の統合的解決を図る、「横浜型大都市モデル」の創出に向け、多様な主体との連携によって自らも課題解決に取り組む中間支援組織。 <a href="https://www.yokohama-sdgs.jp/">https://www.yokohama-sdgs.jp/</a></p>
<b>5.取組の活動予定・スケジュール</b>
<p>7～8月 申請受付・審査</p> <p>9月～令和3年3月 事業実施</p> <p>※事業実施期間中は、ホームページにて事業の進捗を公表予定</p>

<b>6.関連するゴール</b>	
<b>7.取組イメージ</b>	<p><b>「SDGs biz サポート事業」対象事業のイメージ</b></p> <p>【例】 外出困難な高齢者等を対象に、個人の趣向と健康を考慮した食料品等の、AI、IoTの先端技術を活用した移動販売サービス</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p><b>社会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の新型コロナウイルス感染症への感染リスクの低減</li> <li>栄養バランス等を考慮したメニュー等による高齢者の健康増進</li> </ul> </div> <div style="text-align: center;"> <p><b>経済</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の先進技術の活用による新たなビジネスモデル創出</li> <li>地域内の人材活用による新たな雇用の創出</li> </ul> </div> <div style="text-align: center;"> <p><b>環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地産地消食材等の活用による運輸部門のCO2削減</li> <li>売れ残り食材のフードドライブによるフードロス削減</li> </ul> </div> </div> 

## 飲食店支援クラウドファンディング「#鎌倉応援チケット」

自治体名：神奈川県鎌倉市

<b>1.取組タイプ</b>		<b>2.地域課題・実施目的</b>	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う外出自粛により、多大な経済的打撃を受けた市内飲食店に対し、クラウドファンディングを用いた支援を行う。
○	I 普及啓発		
	II 新規プロジェクト	<b>3.取組の概要</b>	クラウドファンディングサービス「iikuni」を活用し、市内飲食店支援クラウドファンディングを実施する。支援時に応援する店舗を指定し、それに応じた支援額を参加店舗に配付する。
	III 官民連携		
	IV 市民サービス		
	V その他		

### 4.取組の詳細

#### ■プロジェクトの詳細内容

「#鎌倉応援チケット」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う外出自粛により、売上の減少等に直面する市内飲食店の影響を軽減するため、クラウドファンディングサービスを活用し、将来使用できる食事券を市民をはじめ多くの方々に購入いただき、その売上を参加店舗に事前に配付することで、現在必要な資金を参加店舗に届けることを目的としたプロジェクトである。当該プロジェクトを通じ、持続可能な社会の構築の担い手となる地元企業等への支援を行うとともに、市内外の応援者とのつながりを築くことを期待する。

### 5.取組の活動予定・スケジュール

#### ■スケジュール

- 4/24～30 参加店舗募集（約120店舗が参加）
- 5/1～17 クラウドファンディング実施  
（目標額：3,000,000円、結果：13,030,000円）

### 6.関連するゴール



### 7.取組イメージ

支援者(市民等)

クラウドファンディングサービス



参加飲食店

現在必要な資金を参加店舗へ



### 関連URL

<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/shoukou/kurafan.html>

# 「地方創生SDGs推進による新型コロナウイルスの影響への取組事例」 調査票

## 農林水産業向け「#コロナ転職」プロジェクト

自治体名：富山県富山市

<b>1.取組タイプ</b>		<b>2.地域課題・実施目的</b>	誰一人取り残さない持続可能なまちづくりを実現するために、新型コロナウイルスによる失業者等の雇用対策として、農林水産業への就職を支援し、高齢化などによって担い手不足となっている農林水産業への新たな雇用を創出し、農林水産業の活性化を図る。
I	普及啓発		
○	II	<b>3.取組の概要</b>	新型コロナウイルス等の影響による失業者等の雇用の受け皿として、密閉、密集、密接の「3密」になりにくい屋外での農作業等への就職を支援するとともに、高齢化などによって担い手不足となっている農林水産業への新たな人材を確保し、農林水産業の活性化を図る。
○	III		
○	IV		
○	V		
	その他		


<b>4.取組の詳細</b>
<p>官民相互のパートナーシップを通じて、求職者と求人事業者への効率的なマッチングを行い、農林水産業への新たな人材の確保を図る。</p> <p>○取組みの内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①求職者は、希望する求人情報があれば、市役所窓口へ問い合わせ</li> <li>②市役所から求人事業者へ求職者の情報提供及び面接日時等の調整</li> <li>③市役所から求人事業者へ紹介状を発行</li> <li>④紹介を受けた求人事業者は、求職者に対し採用選考(面接等)を行う</li> <li>⑤面接等の結果を求人事業者→市役所へ報告</li> </ol> <p>○取組の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響による失業対策</li> <li>・人材が不足する農林水産業へ新たな雇用機会の創出</li> <li>・農林水産業の活性化</li> </ul> <p>→高齢化などにより担い手不足となっている農林水産業へ雇用を創出し、持続可能なまちづくりを実現する。</p>

<b>5.取組の活動予定・スケジュール</b>
4月20日～ 農林水産業の方に求人情報を募集
4月30日～ 市HPやSNS等を通じて求人情報を公開 順次、求人情報を更新しマッチングを継続中
6月上旬～ マッチングにより新規就労を開始

<b>6.関連するゴール</b>	    
------------------	---

**7.取組イメージ**

【農林水産業への就職マッチング事業】  
官民相互のパートナーシップを通じて、新型コロナウイルスによる失業者等の雇用対策として、農林水産業への就職を支援し、担い手不足となっている農林水産業へ雇用を創出し、持続可能なまちづくりを実現する。



市役所が窓口となり、新たな人材を確保したい農林水産業の求人事業者と新型コロナウイルス等による求職者のマッチングを行う。

<b>関連URL</b>	<a href="https://www.city.toyama.toyama.jp/norinsuisanbu/noseishinkoka/nouseikikaku.html">https://www.city.toyama.toyama.jp/norinsuisanbu/noseishinkoka/nouseikikaku.html</a>
--------------	---



## 天竜材で3密対策しませんか-新しい生活様式支援天竜材活用事業-

自治体名：静岡県浜松市

### 1.取組タイプ

- I 普及啓発
- II 新規プロジェクト
- III 官民連携
- IV 市民サービス
- V その他

### 2.地域課題・実施目的

- ・浜松市では、SDGsの達成に向け、市の北部に広がる豊富な森林資源を活かし、FSC認証を活用した持続可能な森林経営を推進している。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により木材需要が落ち込んでおり、地域経済に影響が出ている。
- ・引き続き、感染症の拡大防止のために3密回避等の「新しい生活様式」を実践する必要がある。

### 3.取組の概要

3密回避を目的とする天竜材（FSC認証材）を使用した間仕切り等の木製什器の購入を支援する。

### 4.取組の詳細

新型コロナウイルス感染症対策のため、FSC認証材である天竜材を活用し、新しい生活様式を取り入れる事業者に対して補助金を交付することで、3密回避を進めるとともに、天竜材の流通量増加及び販路拡大を図り、持続可能な森林経営を推進する。

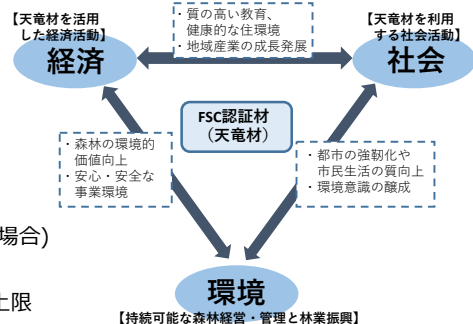
#### (1)対象経費

- ① 木材の8割以上FSC認証材を使用した木製什器の購入費
- ② FSC認証材の購入費  
(木材の8割以上FSC認証材を使用した木製什器を自ら作製かつ設置した場合)

#### (2)補助率

対象経費の2/3※ただし、500千円を上限

「FSC認証」とは…森林が適正に管理されているかを世界基準に沿って審査する仕組み



### 5.取組の活動予定・スケジュール

6月9日 報道発表及びホームページ等での周知

6月18日 申請受付スタート

令和3年3月19日 申請受付終了

※予算の範囲内において先着順で、予算がなくなり次第終了

### 6.関連するゴール

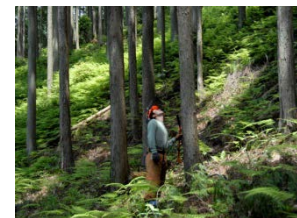


### 7.取組イメージ

#### 【持続可能な森林経営の推進】

すべての市民が安心・安全に暮らすためには、気候変動対策や自然災害に対する都市の強靱性を高めることが必要。

また、市民生活に直結する生物多様性や水源涵養、保健・レクリエーションなど森林の多面的機能を維持していくためには、持続可能な森林経営が必要。



FSC森林認証取得面積  
**48,541ha**  
(2020年4月1日時点)

#### 【3密対策のための木製什器の事例等】



天竜材を使用した間仕切り



協力事業者へは天竜材の木製プレートを配付

### 関連URL

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/ringyou/3mitu/toppu.html>

# 「地方創生SDGs推進による新型コロナウイルスの影響への取組事例」 調査票

## SDGs × 新しい生活様式 「ミライのフツをつくろうプロジェクト」

自治体名：愛知県豊田市

<b>1.取組タイプ</b>			<b>2.地域課題・実施目的</b>	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「新しい生活様式」を定着させながら、この困難な状況下をパートナーシップで乗り越え、持続可能な地域社会の形成を目指す。
○	I	普及啓発		
○	II	新規プロジェクト	<b>3.取組の概要</b>	SDGs 未来都市として、WITHコロナの状況の中で、地域や市民の課題解決につながる取組を先導。とよたSDGs パートナーや豊田市つながる社会推進協議会とともに「ミライのフツ」を目指して様々なアプローチを実施
○	III	官民連携		
○	IV	市民サービス		
○	V	その他		

<b>4.取組の詳細</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 「I. 普及啓発」：プレスリリース、プロジェクト専用HP作成</li> <li>➢ 「II. 新規プロジェクト」：             <ul style="list-style-type: none"> <li>第1弾：「新しい生活様式」の定着に向けた市民の「困りごと」と解決方法を募集</li> <li>第2弾：とよたSDGs パートナーとの共働による地域活性化キャンペーン</li> <li>第3弾：新しい避難生活ークルマの外部給電機能を活用した「在宅避難」促進</li> <li>第4弾：とよたエコフルタウン リモートガイドツアーの実施</li> </ul> </li> <li>➢ 「III. 官民連携」：市民課題を行政だけでなく、とよたSDGs パートナー、豊田市つながる社会実証推進協議会といった産学官金の組織とノウハウを活用し、地域の課題解決を図る。</li> <li>➢ 「IV. 市民サービス」：ふるさと寄附金の返礼品などを活用し、豊田市を応援</li> </ul>

<b>5.取組の活動予定・スケジュール</b>
<p>事業が決まり次第、随時、プレスリリースし、シリーズ展開 令和3年3月「仮」SDGs 国際会議にて、国内外に向けて成果発表</p>

<b>6.関連するゴール</b>					
------------------	--	--	--	--	--



<b>関連URL</b>	「ミライのフツをつくろうプロジェクト」専用ページ <a href="https://toyota-ecofultown.com/project_sdgs/">https://toyota-ecofultown.com/project_sdgs/</a>
--------------	--

## 「ささえあいSHIMALしょう！！」(支援制度など)

自治体名：三重県志摩市

<b>1.取組タイプ</b>			<b>2.地域課題、実施目的</b>	新型コロナウイルス感染拡大防止および社会経済活動の両立を掲げて、志摩市の中心的産業である観光業、農林水産業、飲食業が大きな打撃を受ける中、「ささえあいSHIMALしょう！！」をキャッチフレーズに、落ち込んだ市内の消費活動の回復、売上額が大幅に落ち込んでいる飲食店等の売り上げ確保などにより、市民も含めた「誰ひとり取り残さない」支援を行う。
<input type="radio"/>	I	普及啓発		
<input type="radio"/>	II	新規プロジェクト	<b>3.取組の概要</b>	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている、市内事業者、市民、また移動制限により県外から帰省できない学生も含め、各種給付金、会計年度任用職員の緊急雇用、マスク無償配布等、その他各種支援を行う。
<input type="radio"/>	III	官民連携		
<input type="radio"/>	IV	市民サービス		
<input type="radio"/>	V	その他		

### 4.取組の詳細

キーワードは感染拡大防止と社会経済活動の両立！

■ 支えあう 経済対策

- 宿泊施設利用者の大幅な減少による休業や感染拡大防止のための休業を実施した宿泊施設を対象に、休業経費の一部を給付する「**宿泊施設休業経費給付事業**」(現在は終了しています。)
- 外出自粛の影響により売上額が大幅に落ち込んでいる飲食店等の新たな販路拡大を後押しするための「**テイクアウト応援商品券事業**」
- 市外在住学生の生活支援および、志摩市産品の消費拡大を図る「**学生応援地域産品給付事業**」

■ 支えあう 情報発信

- 公式 SNS「ささえあいSHIMALしょう!!キャンペーン」(Instagram, Facebook) を開設し、**情報発信**を行い、商品販売の促進や地域の消費活動の向上をめざす周知の後押しをする。

■ 支えあう 雇用創出

- 「**会計年度任用職員緊急雇用**」により、内定取り消しとなった学生等に新たな雇用の場を創出。

■ 支えあう 感染防止

- 地域内経済循環のため市内縫製業者に作製委託した**布マスクを市民に無償配布**し感染拡大防止。

■ 支えあう 子育て支援

- ひとり親世帯等の生活支援のため、児童扶養手当受給資格者に対し**特別給付金を支給**

■ 支えあう 生活支援

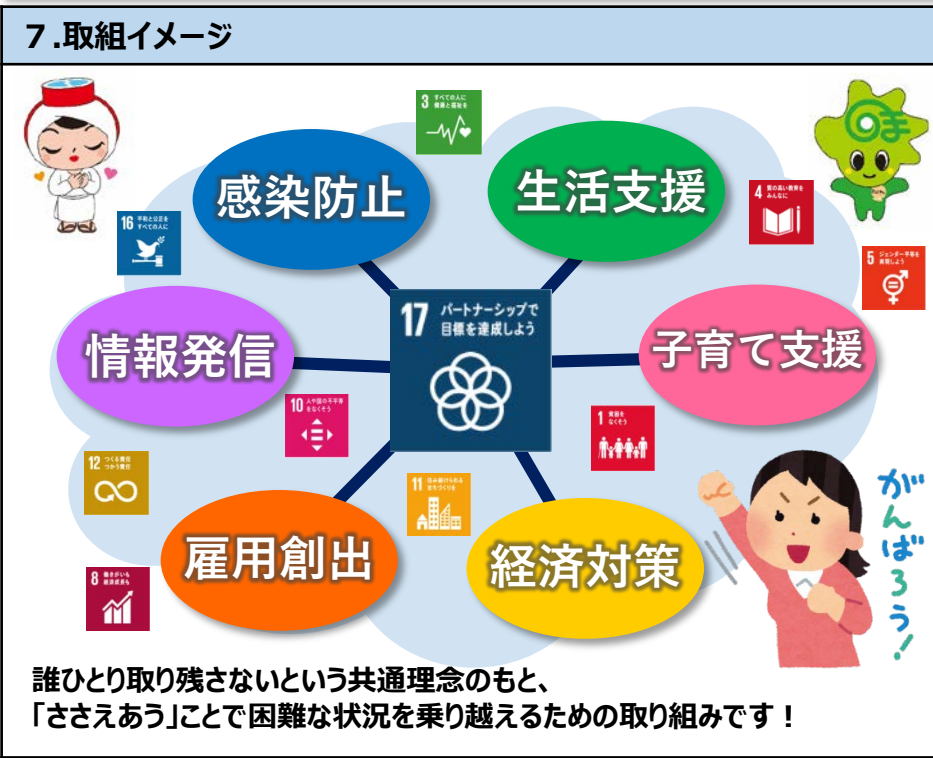
- 休業や失業等により減収となった収入を補う**生活支援特別給付金事業**
- 市役所内弁護士による無料電話法律相談

※ その他取組事業の詳細については下記URL参照。

### 5.取組の活動予定、スケジュール

今後の状況に応じて、制度変更、拡充等を行い、柔軟かつ早急な対応に努めていく。

### 6.関連するゴール





# 「地方創生SDGs推進による新型コロナウイルスの影響への取組事例」 調査票

## 施設入所者と家族等とのデジタル面会の支援 ～「しゃべる機会」の確保によるフレイル予防～

自治体名：大阪府堺市

<b>1.取組タイプ</b>		<b>2.地域課題・実施目的</b>	入所型の福祉施設の多くでは、感染拡大防止のため、家族等との面会を制限しており、入所者や家族等の心身面での不安の増大が懸念されていることから、高齢者のフレイル予防、入所者と家族等の寂しさやストレス、不安の軽減などを図る必要がある。
I	普及啓発		
II	新規プロジェクト	<b>3.取組の概要</b>	SDGsの理念である「誰一人取り残されない」ことを念頭に、希望する入所型の福祉施設に対し、本市がタブレット端末を無料で貸し出すことで、入所者と家族等が、テレビ電話などにより、お互いの顔を見ながら会話できる環境の整備を支援する。
III	官民連携		
○ IV	市民サービス		
V	その他		

**4.取組の詳細**

入所型の介護等施設や障害者支援施設、児童養護施設（以下、対象施設）の多くでは、外部からの新型コロナウイルス感染拡大防止のため、家族等との面会を制限している。

そのため、入所者が会話する機会が減少したり、行動意欲が低下したりするなど、心身面での不安の増大が懸念されている。

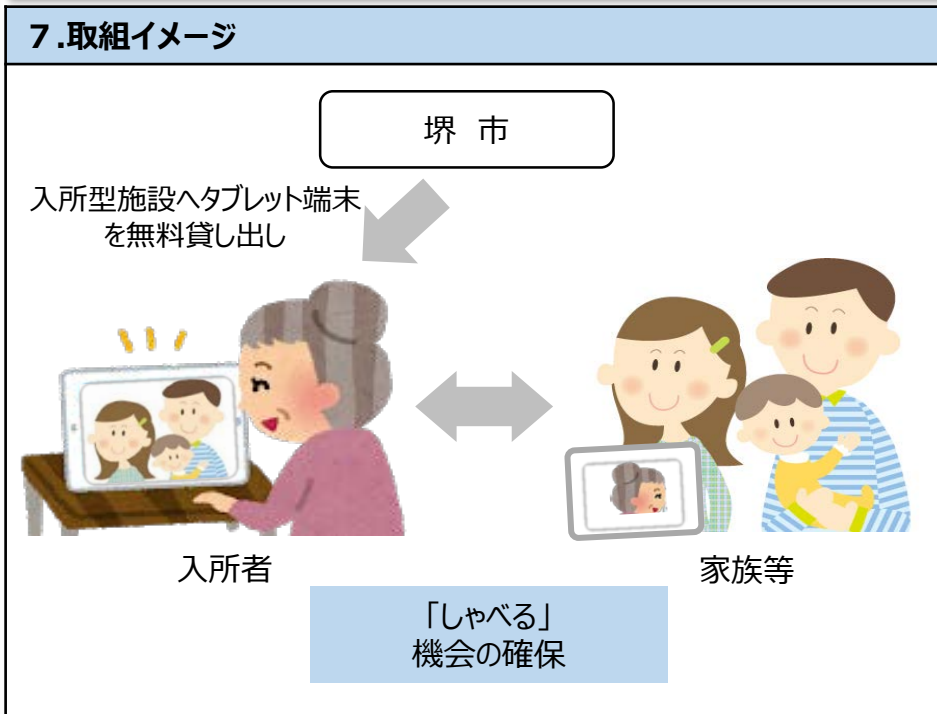
本市では、SDGsの理念である「誰一人取り残されない」ことを念頭に、希望する市内対象施設に、タブレット端末を無料で貸し出し、入所者と家族等が、テレビ電話などにより、お互いの顔を見ながら会話できる環境整備を支援し、「しゃべる」機会を確保することにより、高齢者のフレイル予防のほか、入所者と家族等の寂しさやストレス、不安の軽減などに取り組んでいる。

**5.取組の活動予定・スケジュール**

令和2年5月末まで募集し、希望した対象施設に対し、タブレット端末を貸し出し中（期間は貸し出しから4か月）。

今後の取組の継続、拡充等について検討中。

**6.関連するゴール**

**関連URL** [http://www.city.sakai.lg.jp/shisei/koho/hodo/hodoteikyoshiryo/kakohodo/teikyoshiryo\\_r2/teikyoshiryo\\_r0204/020422\\_04.html](http://www.city.sakai.lg.jp/shisei/koho/hodo/hodoteikyoshiryo/kakohodo/teikyoshiryo_r2/teikyoshiryo_r0204/020422_04.html)

# 「地方創生SDGs推進による新型コロナウイルスの影響への取組事例」 調査票

## 特設HP「新型コロナウイルスに負けない！！私たちのSDGsアクション」の開設

自治体名：岡山県岡山市

<b>1.取組タイプ</b>			<b>2.地域課題・実施目的</b>	新型コロナウイルス感染症の拡大が、地域経済の停滞を招き、地域の活力の減退等、市民生活にも大きな影響を及ぼしている。そこで、岡山ESDプロジェクト参加団体等による、地域のつながり・活力を維持していかうとする様々な取組を情報発信し、新型コロナウイルスとともに生きる新しい生活の実践につなげていく。
○	I	普及啓発		
	II	新規プロジェクト	<b>3.取組の概要</b>	市民や地域のつながり・活力を維持していく取組みや、家で楽しく過ごせる情報、新たな生活様式に役立つ情報を、新型コロナウイルス感染症の影響に負けない新たな取組として、SDGsをテーマに市民協働で情報発信する。
○	III	官民連携		
○	IV	市民サービス		
	V	その他		

### 4.取組の詳細

「岡山ESDプロジェクト」参加団体（309団体）と「つながる協働ひろば」メールマガジン登録団体（243団体）に、自団体の活動及びつながりのある他団体等の活動情報の提供を依頼。HP「おかやまESDなび」内に特設ページを開設し、活動内容やSNS等へのリンクを掲載する。また、ファジアーノ岡山等トップチームによる運動等の動画案内をあわせて掲載する。

こうした情報発信を行うことにより、ステークホルダーの活躍を支援するとともに、SDGsと関連付けることで、持続可能な社会づくりの促進とSDGsの普及・啓発につなげる。

### 5.取組の活動予定・スケジュール

令和2年5月22日からHP上に特設ページを開設した。今後も随時、ステークホルダーの取組を募集し、その都度HPにアップしていく。

### 6.関連するゴール



### 7.取組イメージ

【HP掲載例】

団体名	活動内容	関連するSDGs	
		SNS等	
富山公民館	◎とみやま学区「助け合いBOX」 マスク不足が続く中、富山公民館に「助け合いBOX」を設置し、地域の方から布マスクを集め、マスク不足で苦労されている学区内の施設などに配布。	3 3. 持続可能な開発のための健康を確保する	12 12. 持続可能な消費と生産
		16 16. 平和と公正	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facebook</li> <li>• ホームページ</li> </ul>	
NPO法人 ヘルスサイエンス地域 国際センター	◎自宅でコロナウイルス模型をつくってみよう コロナウイルス共生社会に生きるため、コロナウイルスの構造、作用を科学的に知る必要があると考え、小学生向けの簡易模型教材（セット）を、NPO理事（大学教員等）が開発している。必要ならば、大学研究者の出前セミナーも可能。	3 3. 持続可能な開発のための健康を確保する	4 4. 質の高い教育をみんなに
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• ホームページ</li> </ul>	

### 関連URL

<http://www.okayama-tbox.jp/esd/pages/10673>

# 「地方創生SDGs推進による新型コロナウイルスの影響への取組事例」 調査票

## エコテイクアウト推進事業

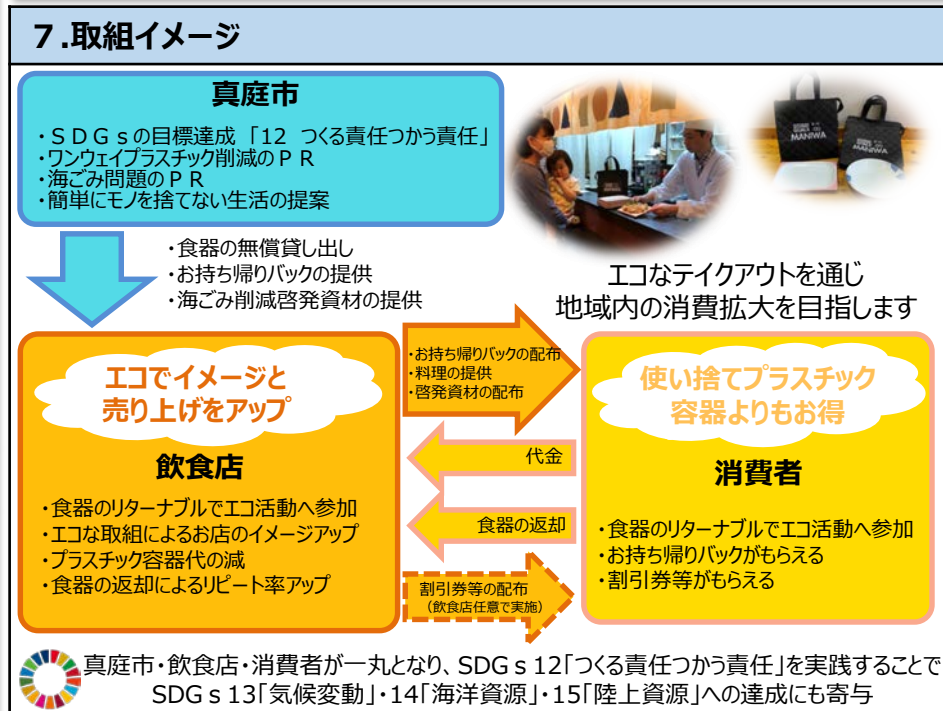
自治体名：岡山県真庭市

<b>1.取組タイプ</b>			<b>2.地域課題・実施目的</b>	コロナ禍で飲食店がテイクアウトで商品を提供する機会が増えた。テイクアウトは使い捨てのプラスチック容器が使われる場合が多く、プラスチックごみの増加が課題である。そこで、リターナブル食器の活用で一度使っただけで捨てられる「ワンウェイプラスチック」を減らし、モノを簡単に使い捨てない生活を実践してもらう。
○	I	普及啓発		
○	II	新規プロジェクト	<b>3.取組の概要</b>	市が所有する食器（メラミン樹脂製）を飲食店に無償で貸し出し、テイクアウト用に活用してもらう。市がスキーム構築、広報宣伝を行い、飲食店、消費者でSDGs 12「つくる責任つかう責任」を実践してもらう。また、この取組はエコ食器による環境保全や資材の削減により、SDGs 13・14・15にも繋がっている。
○	III	官民連携		
	IV	市民サービス		
	V	その他		

<b>4.取組の詳細</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>Ⅰ. 普及啓発 (飲食店や消費者にSDGsの取組の実践)</li> <li>Ⅱ. 新規プロジェクト (コロナ禍を契機に企画実施)</li> <li>Ⅲ. 官民連携 (行政が仕組みを作り、民間独自の運営へ)</li> </ul>	
仕組み	市所有の食器を飲食店へ貸し出しテイクアウト用に使用してもらう
方向性	飲食店、消費者とも責任を持ちプラスチックごみを減らす
成果	プラスチックごみの発生抑制、ごみ削減の意識啓発
関係者	市内の飲食店、消費者
体制	行政で資材等を提供。運営は飲食店の自主運営
特徴	ごみを減らすことは飲食店にも消費者にも責任があることを理解してもらい、SDGs 12「つくる責任つかう責任」を実践してもらう

<b>5.取組の活動予定・スケジュール</b>	
2020. 5	事業スタート <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して参加飲食店の募集、事業のPR</li> <li>・参加飲食店間の連携構築、ニーズ把握</li> </ul> (今後の発展)
2020.12	食器の種類追加の検討、食器共有化スキームの検討
2021. 4	リターナブル食器共有エリアの構築化 (計画)

<b>6.関連するゴール</b>	   
------------------	---




<b>関連URL</b>	真庭市ホームページ「繰り返し使える食器でエコテイクアウトをしてみませんか」 <a href="https://www.city.maniwa.lg.jp/soshiki/14/29044.html">https://www.city.maniwa.lg.jp/soshiki/14/29044.html</a>
--------------	---



## 真庭市SDGs市内交流事業 まにわを知らう！バスツアー

自治体名：岡山県真庭市（一般社団法人 真庭観光局）

<b>1.取組タイプ</b>		<b>2.地域課題・実施目的</b>	新型コロナウイルス感染症の影響により、県内、県外の移動が制限され、真庭市で実施してきたバイオマスツアーの開催が困難な状況となっている。このような状況の中、県外向けPR事業ではなく、市民に目を向けたツアーを（一社）真庭観光局が実施。今までのツアーをブラッシュアップし、市民が地域への愛着と誇りの醸成を図ることができるよう市内で行っているSDGsの取り組みを見学・体験してもらう。将来的にはSDGsを学べるツアーとして県外にも積極的にPRしていく。								
	<table border="1"> <tr><td>I</td><td>普及啓発</td></tr> <tr><td>○</td><td>II 新規プロジェクト</td></tr> <tr><td>○</td><td>III 官民連携</td></tr> <tr><td>○</td><td>IV 市民サービス</td></tr> <tr><td></td><td>V その他</td></tr> </table>			I	普及啓発	○	II 新規プロジェクト	○	III 官民連携	○	IV 市民サービス
I	普及啓発										
○	II 新規プロジェクト										
○	III 官民連携										
○	IV 市民サービス										
	V その他										
<b>3.取組の概要</b>			真庭市バイオマス事業をブラッシュアップしたSDGsバスツアーを開催。真庭の産業歴史、林業、農業等をテーマとした企業、自治会向けの研修や市内の放課後児童クラブや子ども会の体験学習等の交流を行う。								

<b>4.取組の詳細</b>
<p>○「SDGs未来杜市真庭」の取組を大人から子供まで楽しめるバスツアーを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民を対象とした真庭のSDGsの取組を学べるツアーを開催。それぞれの要望にも応えられるオーダーメイドのツアーにも対応する。例えば、真庭バイオマス集積基地やバイオマス発電所の見学、エネルギー講座聴講、循環型農業を見学するなど、地域資源に光を当てる。</li> </ul> <p>○真庭市内満喫バス手配</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内の飲食店や旅館で交流会を開く際に、行き帰りのバスを手配。社員交流会、老人クラブ、子ども会、保護者会など幅広く対応。</li> </ul> <p>➤ 取組の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民が市内企業のSDGsの取組を学び、地域資源、魅力を再発見</li> <li>旅館、レストラン、バス会社等の観光事業者への副次的な支援</li> </ul> <p>→市民や地域へSDGsの取組が拡がり地域力の向上を図る。</p>
<b>5.取組の活動予定・スケジュール</b>
<p>令和2年6月1日 SDGsツアー募集開始、催行 開催期間 6月1日～3月31日 参加者には「SDGsバッジ（真庭産ひのき）」をプレゼント!</p> 

<b>6.関連するゴール</b>	
<b>7.取組イメージ</b>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>無料配布のバイオ液肥</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>木質バイオマス発電所</p>  </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  <p>真庭SDGsの取り組みの見学</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>地元産木材を使用したパートナー企業社屋</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>牡蠣殻を活用して作った真庭里海米</p>  </div> </div> <p style="text-align: center;">市民が地域資源や魅力を再発見</p> <p>➔ <b>市民・地域へSDGsの取組が拡大</b></p>
<p>真庭のSDGs取組みをご覧ください</p> 	

# 「地方創生SDGs推進による新型コロナウイルスの影響への取組事例」 調査票

## うち（真庭）de食べ～の

自治体名：岡山県真庭市

### 1.取組タイプ

I	普及啓発
○	II 新規プロジェクト
○	III 官民連携
○	IV 市民サービス
	V その他

### 2.地域課題・実施目的

コロナ禍で自粛要請、生活スタイルの変化があり、市民の中には大きな戸惑いを覚え、飲食店を中心に厳しい状況に置かれた。その中で、「みなで一緒に地域（真庭）を盛り上げよう！」という熱い思いを持った真庭SDGsパートナーの「まにワッショイ」が中心となり、「手の届く範囲のみんなが笑顔になる」シンボルとして市内協力店で使えるチケットを作り、真庭SDGsパートナー等に参加を呼びかけ【うち（真庭）de食べ～の】を企画・実施。

### 3.取組の概要

700円×5枚つづり（合計3,500円）のチケットを購入し、2020年7月末まで、真庭市内の協力店で利用してもらう。各協力店は700円で提供できるサービス・物販・体験を設定し、チケットと交換。

### 4.取組の詳細

- Ⅱ. 新規プロジェクト（コロナ禍を契機に企画実施）
- Ⅲ. 官民連携（行政は広報協力）
- Ⅳ. 市民サービス（市民と市内飲食店をつなぐ）

主催：まちづくり応援団「まにワッショイ」（真庭SDGsパートナー）

チケット：3,500円（700円×5枚つづり）  
（行政の補助はなく、協力店の自助努力でそれぞれサービスを実施）

協力店：真庭SDGsパートナーを含む市内飲食店・旅館・理髪店・整体院等  
約70店

期限：2020年7月31日まで ※真庭SDGsパートナー  
真庭市のSDGsの取組に賛同し、共に推進していくことを宣言した団体（権利・義務等はなし）

#### 【主催者の想い】

このチケットは、「一緒に、真庭で盛り上がりよう！」というメッセージを託したタスキです。タスキがつながって、やがて真庭中で「盛り上がりよう！」とひとつになれたら、と願っています。これから、新たな出会いが生まれて、化学反応が起こって、今はまだ想像もつかないような「素敵なこと」が真庭のいろんなところで起こってきます。

たとえ世界中のみんなをハッピーにすることはできなくても、手の届く範囲のみんなが笑顔になる。そんなローカルな取り組みも素敵じゃないですか??

### 5.取組の活動予定・スケジュール

2020. 6 事業スタート

2020. 7月末 チケット使用終了

～新たな出会い、新たな取組が生まれて、市民が笑顔に地域が元気に

### 6.関連するゴール



### 7.取組イメージ

『食べ～の』チケット  
3,500円（700円×5枚つづり）

チケットは「食べ～の」各地域で買ってもらいます。

いろいろなお店で『食べ～の』チケットを使ってみよう！

- 地域内消費の拡大
- 真庭SDGsパートナーの連携促進

URL: <https://tabeno.maniwa.life/>



関連URL 専用HP「うち（真庭）de食べ～の」 <https://tabeno.maniwa.life/>

## SDGs未来都市:上勝町のまちづくりオンライン視察

自治体名: 徳島県上勝町

1.取組タイプ			2.地域課題・実施目的	3.取組の概要
○	I	普及啓発		
	II	新規プロジェクト		
	III	官民連携		
	IV	市民サービス		
	V	その他		

2.地域課題・実施目的: 新型コロナウイルスの影響による外出や県を跨ぐ移動の自粛が余儀なくされている。これにより、上勝町への視察がゼロになるとともに情報発信の一手段がなくなる。人の流入がなくなることは、地域企業の経済活動にも大きな影響を与えることから、民間企業による上勝町オンライン視察を実施。

3.取組の概要: 視察者のニーズに沿った内容で現地視察に近いオンライン視察を実施し、情報発信を行う。

4.取組の詳細
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「I. 普及啓発」: オンライン視察によるSDGs推進による上勝町のまちづくりの情報を発信する。             <ul style="list-style-type: none"> <li>○いろいろビジネス(高齢者が主役の葉っぱビジネス)</li> <li>○ゼロ・ウェイスト(ごみゼロ、45品目の分別)</li> <li>○木質バイオマス(チップボイラー) ○SDGsの取組 ○地方創生</li> </ul> </li> <li>「II. 官民連携」: 視察日程の調整、ニーズのマッチング及びオンライン配信は民間企業により実施。</li> <li>「III. 経済効果の創出」: 有料視察となるが、コロナ禍においても経済効果を創出する。</li> <li>「IV. オンライン視察内容」: 単なる対面によるオンライン視察ではなく、各地点から中継を行い生の声や現場の状況を伝えることで、情報量を充実させ、より現地視察に近いかたちの視察を提供する。</li> <li>「V. その他」: オンライン視察者からの意見を聞き、各種改善を行いオンラインサービスの技術向上を図るとともに、アフターコロナ、ウィズコロナにも対応できるノウハウを習得し、別事業への展開にもつなげる。</li> </ul>
5.取組の活動予定・スケジュール
<p>オンライン視察は、5月より実施中。          オンライン視察の継続については、7月より現地視察の再開を予定していることから、現地視察件数の増加数により順次判断をする予定。</p>

6.関連するゴール	
7.取組イメージ	<p>コロナ禍の中、密を避けた「オンライン視察」の提供          オンライン視察メニュー          「いろいろ事業」「ゼロ・ウェイスト」「SDGsの取組」etc</p> <p>視察者</p> <p>民間企業 (調整)</p> <p>事業者(企業)</p> <p>第3セクター</p> <p>農家</p> <p>行政</p> <p>ゼロ・ウェイストセンター</p> <p>事前にマッチングを行い視察先との調整を実施</p> <p>企業スタッフが各地から中継を行い現地視察と同等内容を提供</p>



## 北九州市応援寄附金「コロナに負けない、北九州の底力」

自治体名：福岡県北九州市

1.取組タイプ		2.地域課題・実施目的	3.取組の概要
○	I 普及啓発	新型コロナウイルス感染症は、北九州市においても多くの陽性患者が確認されており、医療関係者をはじめとする多くの業種の方々が、感染への不安を抱えながらも、日々奮闘している。最前線で働く医療関係者や、深刻なダメージを受けている事業者を応援したいという声の広がりを受け、応援の気持ちを受け付ける窓口として、本プロジェクトを開始した。	ふるさと納税を活用したクラウドファンディングを実施し、プロジェクトに共感した方から寄付を募る。いただいた寄附を、医療・福祉関係者や事業者への支援など新型コロナウイルス感染症対策への取り組みに活用することで、持続可能なまちづくりを推進する。
○	II 新規プロジェクト		
○	III 官民連携		
○	IV 市民サービス		
○	V その他		

### 4.取組の詳細

新型コロナウイルスの感染拡大により、市民生活全般に不安と深刻な影響が生じる中、最前線の現場で奮闘する医療・関係者の方々や、休業要請等で深刻なダメージを受けている事業者の方々を応援したいという声広がる。

↓

### 北九州市応援寄附金「コロナに負けない、北九州の底力」

～あなたの想いがコロナと戦う人たちを支えます～ を開始

↓

**受付開始 1か月弱で目標金額を達成！！** (現在も寄附を受付中)

↓

- 医療・福祉関係者への支援に（医療資材の購入など）
- 深刻なダメージを受ける事業者への支援に（感染予防のための新しい生活様式への対応など） 新型コロナ感染症対策への取り組みに活用。
- 持続可能なまちづくりの推進

### 5.取組の活動予定・スケジュール

- 5月15日 募集開始
- 6月11日 **目標金額5千万円を達成！！** ありがとうございます！  
引き続き、寄附の受付実施
- 8月13日 募集終了 → 支援実施

### 6.関連するゴール

### 7.取組イメージ

持続可能なまちづくりのため、SDGs 未来都市として、今こそ「市民力」を結集し、この難局を乗り越えていく。

※ 寄附金以外にも  
 ・飲食店への支援「キタキュウYELLプロジェクト」  
<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/san-kei/27200174.html>  
 ・SDGs の達成に向けたソーシャルディスタンスの取り組み  
[https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kikaku/324\\_00007.html](https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kikaku/324_00007.html)  
 など様々な取り組みを実施。

**関連URL** [https://www.city.kitakyushu.lg.jp/soumu/333\\_00017.html](https://www.city.kitakyushu.lg.jp/soumu/333_00017.html)

## ONE TEAM こおりやま広域圏！「食の応援」掲示板事業

自治体名：福島県郡山市

<b>1.取組タイプ</b>			<b>2.地域課題・実施目的</b>	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、農産物や食品などの売上低迷や過剰在庫の影響が出ている。 <b>「こおりやま広域圏」内の「農家・食品関係事業者」の売上回復及び販路の確保することにより、誰一人取り残さない持続可能な農産業・食品加工業の維持・向上を目指す。</b>
	I	普及啓発		
	○	II	新規プロジェクト	<b>3.取組の概要</b>
	○	III	官民連携	
		IV	市民サービス	
		V	その他	
(1)事業者からの申し込みを受け、郡山市のウェブサイトに掲載する。 (2)対象地域は、こおりやま広域圏（連携中枢都市圏内の16市町村） (3)対象者は農家（生産者）、食品関係事業者（製造・加工、販売店）				

<b>4.取組の詳細</b>
<p><b>取り組みのポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市に提供いただいた情報を、郡山市のウェブサイトに掲載する。</li> <li>○掲載内容、購入方法については、事業者へ直接お問い合わせいただく。</li> <li>○コロナ禍においても頑張る生産者の「困りごと」や「対策していること」を「見える化」する。</li> </ul> <p><b>取り組みの効果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○官民が連携して情報共有して、掲示板に掲載することで、埋もれがちな事業者の方の生の声が見える化し、<b>誰一人取り残さない</b>ことで地域経済を自立的に循環させる。</li> <li>○自分の住む地域の「良いもの」を購入して、地産地消を進めるとともに、<b>「住み続けられるまち」を自分たちで作っていきこう</b>という機運を高める。</li> <li>○広域圏内の今まで知らなかった<b>地域の良い産品を知る機会になる</b>。</li> <li>○各事業者の対策事例を共有し<b>パートナーシップを構築</b>することができる。</li> <li>○助け合いにより、生産農家を守ることで<b>地域の「食」を守る</b>。</li> </ul>
<b>5.取組の活動予定・スケジュール</b>
<p>4月中旬に特設ページを開設 申請に応じて掲載を追加し、適宜掲載終了していく</p>

<b>6.関連するゴール</b>	
<b>7.取組イメージ</b>	<p>地域の方、県外の方へPRすることでパートナーシップによる地域経済の維持を目指す。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>こおりやま広域圏内の農家、食品関係事業者の方々</p>  <p>5,000円コース Aセット Bセット</p> <p>コロナの影響で 売り上げ減少…</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>住民及び 県外の方々</b></p> </div> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;"> <p>郡山市公式ウェブサイト ONE TEAM こおりやま広域圏！「食の応援」掲示板に掲載</p>  <p>申請フォームから登録!!</p>  <p>食べて応援！ 新たな発見！</p> <p>自分たちで、仕事を持続し、住み続けられる街づくりを目指す</p> </div> </div>

## 事業継続応援家賃等補助金

自治体名：福島県郡山市

<b>1.取組タイプ</b>			<b>2.地域課題・実施目的</b>	新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、事業者の中には、休業を余儀なくされるとともに、減収によりテナント賃料などの固定費用の捻出に困窮している状況にある。また、テナント側の状況を考慮し、家賃等減額したオーナーも家賃収入が減少している状況にあることから、テナント及びオーナー双方の事業継続を支援し、 <b>持続可能な地域経済の維持</b> を目的とする
	I	普及啓発		
○	II	新規プロジェクト	<b>3.取組の概要</b>	休業中のテナント及びオーナー双方の事業継続を応援するため、家賃を減免したオーナーに対し補助を行う。
	III	官民連携		
○	IV	市民サービス		
	V	その他		

### 4.取組の詳細

#### 取り組みのポイント

○オーナーへの補助交付をすることで、家賃補助の実効性を高めて、**持続可能な地域経済**を維持する。

#### 《補助対象者》

4/1以降、休業している事業者に対し、家賃等を減免等したオーナー・不動産事業者

#### 【補助額】

1テナント当たり減免額の5分の4（千円未満の端数は切捨て）

※上限10万円/月、4月～6月までの最長3ヶ月

#### 【加算額】

全額免除した場合または減額に加え1か月以上支払い猶予した場合

1テナント当たり1万円加算

### 5.取組の活動予定・スケジュール

5月11日 補助申請の受付開始

8月31日 補助申請の受付締切

※補助金給付までの流れ

補助金交付申請

⇒補助金交付決定（申請から約1週間程度）

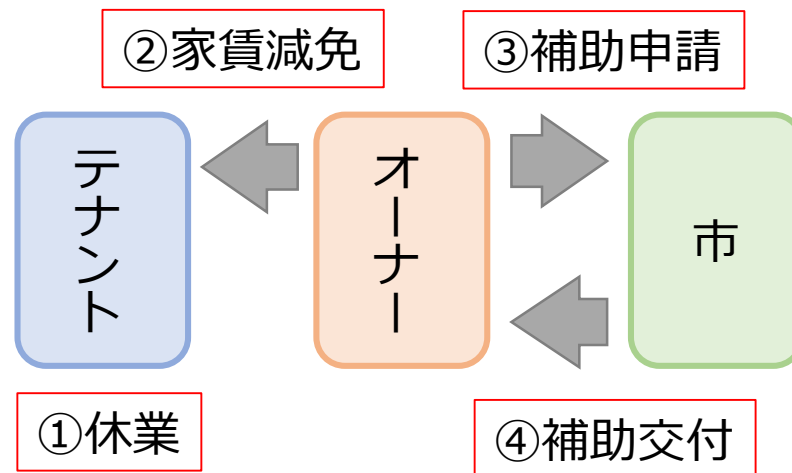
⇒補助金交付（交付決定から約2週間程度）

### 6.関連するゴール



### 7.取組イメージ

《全体フロー》



オーナーの減免対応に対し補助をすることで、テナントの流出を防ぎパートナーシップによる持続可能な地域経済の維持を目指す。

### 関連URL

[https://www.city.koriyama.lg.jp/sangyo\\_business/19gou\\_coronasiennsaku/23824.html](https://www.city.koriyama.lg.jp/sangyo_business/19gou_coronasiennsaku/23824.html)



## 宿泊・飲食業等応援クラウドファンディング事業

自治体名：福島県郡山市

<b>1.取組タイプ</b>		<b>2.地域課題・実施目的</b>	新型コロナウイルス感染症の拡大により経営に影響を受けている <b>こおりやま広域圏内の事業者（主に飲食、宿泊、サービス業）</b> に対し、クラウドファンディング（以下、CF）による資金調達を総合的に支援することで、CF達成後も <b>自律的な活動となるよう促し、持続可能な地域経済の循環</b> を目的とする。
	I 普及啓発		
	○ II 新規プロジェクト	<b>3.取組の概要</b>	(1) CFを一から学べるCF活用 <b>オンラインセミナー</b> の開催（こおりやま広域圏クラウドファンディング学校） (2) CF挑戦者に対し、支援実績のある講師による <b>プロジェクト立案の相談対応</b> (3) CFを行う際に必要な手数料等の経費を、一部補助
	○ III 官民連携		
	IV 市民サービス		
	V その他		

### 4.取組の詳細

#### 取り組みのポイント

- 支援対象を**こおりやま広域圏**（連携中枢都市圏である16市町村）内の事業者とし、中心市の郡山市だけでなく、周辺市町村までを含む**「誰一人取り残さない」仕組みづくり**を目指す。
- 広域圏における「広め合う、高め合う、助け合う」という考え方を中心に、CFの活用方法を伝えるセミナーやプロジェクト立案を支援することで、**将来に渡り自律的好循環につながるフォローアップを実施する。**
- 持続可能な地域経済を目指すため、人口減少の影響が大きい近隣市町村とパートナーシップを形成し、**ノウハウを共有**しながら支援している。

#### 支援対象者について

- こおりやま広域圏在住の個人又は所在地が圏域内にある法人等。
- 新型コロナウイルスの影響により、売上高が減少、創業に支障が出ている。
- ※サービス手数料等の補助金交付については一部市町村で実施。

### 5.取組の活動予定・スケジュール

- 5月1日 プロジェクト募集開始
- 7月1日 オンラインセミナー
- 3月31日 事業終了（決算締め切り）
- ・プロジェクトの相談、補助申請は随時受付
- ・プロジェクトの資金調達終了後、随時補助金交付

### 6.関連するゴール



### 7.取組イメージ



官民が連携することで、近隣市町村とともに持続可能な地域となるためにパートナーシップを形成し広域圏内でノウハウを共有

こおりやま広域圏内の飲食、宿泊、サービス業の方等



コロナの影響で売上減少、創業困難

CFに挑戦したい！



リターン！  
応援！

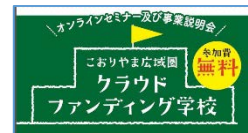
住民及び  
県外の方々

閲覧

CF：クラウドファンディングのこと。自治体は、支援団体への委託、返礼品の10%プレミアム補助、CF掲載手数料の補助などを行う。

新型コロナウイルスに負けないこおりやま広域圏を元気にする事業者を応援します！  
こおりやま広域圏振興財団 宿泊・飲食業等 応援クラウドファンディング事業2020

#### CFのノウハウ支援



①広域圏対象CF活用  
オンラインセミナー



②プロジェクト  
立案の相談など

#### CFに挑戦！！

※プラットフォームは  
選択自由



1,353,187円

171人

4日

## みなかみ町のSDGs！地元を愛そう「MINAKAMI HEARTカード」

自治体名：群馬県みなかみ町

<b>1.取組タイプ</b>		<b>2.地域課題・実施目的</b>	自然と人が共生する社会の世界的モデルとしてユネスコエコパークに登録されているみなかみ町は、自然を活かした観光業や農業が主要産業であり、人の往来が自粛されたことなど、新型コロナウイルスの影響により大ダメージを受けている。SDGs 未来都市として、パートナーシップで地域内を元気に、難局を乗り越え、地域を持続させることを目的に取組を実施するもの。
	I 普及啓発		
○	II 新規プロジェクト	<b>3.取組の概要</b>	みなかみ町内で使用できるポイントカード「MINAKAMI HEARTカード」の現金チャージの際に付与するポイントを2%から25%に拡大して地域内消費の拡大を図り地域事業者を応援するもの。
○	III 官民連携		
○	IV 市民サービス		
○	V その他		

### 4.取組の詳細

MINAKAMI HEARTとは、水と森林と人を育む「みなかみユネスコエコパーク」の理念であるとともに、みなかみ町を愛する気持ちを表す造語。  
MINAKAMI HEARTカードは、SDGsを具現化し、みなかみ町をいつもすぐ近くに感じ応援していただくこと、みなかみ愛を育てていただくこと、みなかみ町内の消費を促進し経済の好循環を図ることなどを目的に2019年からはじまったポイントカード。町内対象施設・店舗での買い物に加え、自然環境保全への寄付などに使用できる。

パートナーシップで地域内の経済の好循環を生み出すことで今般の苦境を打破し、地域事業者を応援し地域を元気にすることなどを目的として、MINAKAMI HEARTカードへの現金チャージの際に付与するポイントを2%から25%に拡大して地域内消費の促進を図るもの。



### 5.取組の活動予定・スケジュール

2020年夏以降。ポイントの有効期限は翌年の12月31日まで。失効したポイントはみなかみユネスコエコパークの自然環境保全などの取組に活用される。



### 6.関連するゴール



### 7.取組イメージ

— SDGsで地域経済の好循環を生み出す —



関連URL

<https://minakamiheart.jp>

## 市内事業者や大学との連携による、適度な外出機会と健康づくり事業

自治体名：東京都日野市

<b>1.取組タイプ</b>		<b>2.地域課題・実施目的</b>	長期に渡る営業自粛、外出自粛により通所介護施設やスポーツクラブ等の利用控えが継続しており、市内の様々な事業者の継続が厳しい状況にある。また住民も過度な外出控えにより、コロナ以外の要因による健康度の低下や社会的なつながりの喪失が懸念される。独居の高齢者等は安否も分かりづらくなっている。
I	普及啓発		
○	II	新規プロジェクト	<b>3.取組の概要</b>
○	III	官民連携	
○	IV	市民サービス	
○	V	その他	
<b>3.取組の概要</b>			コロナ影響下でも、「誰ひとり取り残さない」SDGsの理念の下、経済的な影響を受ける民間事業者、介護事業者等とのパートナーシップ体制により、屋外で3密を避けながら、外出と軽運動ができる機会をつくる。また、大学との連携によりコロナ影響下で新たな暮らし方、持続可能な生活様式等を学ぶ機会をつくる。

<b>4.取組の詳細</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 地域で活動実績のある事業者へ委託、当該事業社がコーディネーターとなり、スポーツクラブや通所介護事業者など、新型コロナの感染拡大により、事業活動に影響を受けている事業者等を主な対象に参加募集を行う。</li> <li>▶ コーディネーターが本事業の軽運動等のプログラムを参加事業者にレクチャーし、登録・参加した事業者は市内各地の公園や団地の空地など、空間が確保できる場所で月に2回程度の軽運動プログラムを実施、実施回数に応じて謝金を支払う。</li> <li>▶ 参加者には、SDGsに関する啓発とコロナ影響下での生活の注意点等を記載したハンドブックを配布。また、参加インセンティブとして花を配布する。配布する花きについては、連携する市内の生花事業者から購入。</li> <li>▶ 感染拡大防止に配慮しながら外出機会とコミュニケーション、運動習慣づくりにマルチステークホルダーパートナーシップにより取り組む。</li> <li>▶ 地域で取り残される人を未然に防ぐと共に、参加事業者の事業継続を図り、関係者相互のネットワークづくりにもつなげる。</li> </ul>

<b>5.取組の活動予定・スケジュール</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外での実施を想定しているため、感染拡大状況や実施時期（気候など）を勘案しながら、9月～10月頃からの実施を想定。（地方創生臨時交付金を活用し6月補正予算により予算化済み）</li> <li>・市内小学校区区域毎に3～5か月間の取組を予定。</li> </ul>

<b>6.関連するゴール</b>	
------------------	--

**7.取組イメージ**

8. 市内事業者や大学との連携による、適度な外出機会と健康づくり事業

事業所管理課  
日野市企画部  
企画経営課

協力課  
日野市健康福祉部  
高齢福祉課

環境共生部  
緑と清涼課

事業コーディネーター  
社会教育センター等

実施場所  
公園・団地の広場

目的と効果  
コロナ影響下で各種イベント、結核式や啓発等が削減し、生花業界は打撃を受けている。一方で多く外出抑制で家庭内のストレスも蓄まりがちな状況であり、参加者に花を配布することでイベントインセンティブにするともに、家に花を添えることで、コロナ疲れのストレスの緩和を図る。

目的と効果  
「新しい生活様式」の中で健康を維持するために気を付けるべきこと、運動・外出時の注意事項、気を付けるべき生活習慣などの指導・助産

各小学校区単位で活動 1回20名程度

実施事業者：（市内公益財団法人）  
協力事業者： 大学、市内スポーツクラブ、通所介護事業者、NPO、地域活動団体、学生などを想定

<b>関連URL</b>	なし
--------------	----



## 公益財団法人南砺幸せ未来基金による コロナ禍に対する緊急支援

自治体名：富山県南砺市

1.取組タイプ		2.地域課題・実施目的	3.取組の概要
	I 普及啓発		
○	II 新規プロジェクト	今般の新型コロナウイルスへの影響から、日常生活にさまざまな支障が出ている。このような困難な時期を市民全体の互助で乗り越えるため、 <b>市民への必要な支援活動を行う地域や町内会、各種団体、事業者等に対し、その活動に必要な経費を(公財)南砺幸せ未来基金が支援する。</b>	支援第1弾として「①高齢者への支援 ②子どもに対する支援 ③飲食店に対する支援」を設ける。令和2年5月31日までに実施した事業を対象とし、支援金の上限は50千円。財源として、有志からの寄付金を充当する。
○	III 官民連携		
○	IV 市民サービス		
○	V その他		

### 4.取組の詳細

- ① 高齢者への支援 (買い物支援)**  
新型コロナウイルスの影響で外出が困難となっている高齢者の買い物支援に取組む地域づくり協議会等に対し、支援体制の準備金及び買い物支援にかかる燃料費、人件費の一部を支援する。
- ② 子どもに対する支援 (子ども向け配食サービス支援)**  
日中食事をとることが困難な児童生徒の家庭に子ども向けの配食サービスを行う団体等に対し、人件費、材料費、配達料の一部を支援する。
- ③ 飲食店への支援 (テイクアウト実施支援)**  
テイクアウトメニューの出前を開始した事業者に対し、配達にかかる燃料費、人件費の一部を支援する。

### 5.取組の活動予定・スケジュール

- 支援第1弾を4月から5月にかけて実施し、4者に対して支援を行った。  
4月27日 支援受付開始 (5月8日まで)  
5月31日まで 事業実施
- 今後、第2弾の実施に向けて支援内容を検討していく。

### 6.関連するゴール

### 7.取組イメージ

① 高齢者への支援  
地域づくり協議会等 ↔ 買い物支援を依頼 / 買物困難な高齢者  
\* 燃料費、人件費を支援

② 子どもに対する支援  
団体等 ↔ 昼食の配達を依頼 / 昼食をとることが困難な児童生徒がいる家庭  
\* 人件費、材料費、配達料を支援

③ 飲食店への支援  
飲食店 ↔ テイクアウトメニューの注文 / 配達 / 家庭  
\* 燃料費、人件費を支援

南砺市SDGs未来都市計画において、2030年のあるべき姿として支え合いながら自立するコミュニティモデルの確立について記載。  
↓  
コロナ禍による生活環境の変化で困っている住民を支援するとともに、コロナ後の目指す社会(地域共生社会、地域循環共生圏)に向けて、それぞれの地域や事業者が自ら考え、自らで取組む活動を南砺幸せ未来基金がサポートすることにより、自立的好循環が生まれ、**誰一人取り残さない地域づくりが推進される。**

関連URL	<a href="https://ecoto.jp/wp2020/">https://ecoto.jp/wp2020/</a>
-------	---

# 「地方創生SDGs推進による新型コロナウイルスの影響への取組事例」 調査票

## 未来をひらく子どもへの学びのエール（学習エール・食育奨励等）

自治体名：石川県小松市

<b>1.取組タイプ</b>			<b>2.地域課題・実施目的</b>	本市では、子どもたちや若者をはじめ、市民一人ひとりのSDGs達成への意識と行動を広げるための「 <b>学びの力</b> 」の向上を、SDGs推進の大きな柱に位置付け取り組んでいる。 しかしながら、感染防止のための休校措置や、スポーツや音楽大会の中止、外出自粛などにより学習や生活にも影響が生じている。この困難を乗り越え、夢や希望に向かうモチベーションの持続と健やかな成長に向けた各種取り組みを推進する。
	I	普及啓発		
	II	新規プロジェクト	<b>3.取組の概要</b>	教材の購入費用など、学習活動に役立てる「 <b>高校生・大学生等学習エール</b> 」、食育月間に合わせて家庭で食育を考える機会として「 <b>子ども食育奨励給付金</b> 」をそれぞれ1万円を給付。これに加え、スポーツや音楽などのこれまでの日頃の成果を発揮する舞台を用意。
○	III	官民連携		
○	IV	市民サービス		
○	V	その他		

### 4.取組の詳細

- **高校生・大学生等学習エール** **学びのモチベーションを持続、向上**  
大学(院)、短大、高専、高校、特別支援学校、専門学校等に在籍し、かつ住民票の有無にかかわらず**小松市内や小松を離れ全国で学ぶ若者ら**にエール(1万円給付)  
※感染拡大防止の観点から、市HP上でオンライン申請のシステムを構築し、申請の簡素化や遠隔地からの申請と素早い支給を可能に
- **子どもの食育奨励** **家族の健康増進と食品ロス削減の意識づくり**  
家庭でのクッキングを通して、親子や子どもたちが食育を考える機会に  
・未就学児、小中学生 1人あたり1万円を給付
- **スポーツ・音楽・学びに励んできた子どもたちを応援(予定)**  
・各スポーツ団体が独自の大会を開催(KOMATSU SPORTS CHAMPION)  
・小中学校や音楽団体による合同発表会を開催(未来へつなぐミュージックフェア)  
・市独自の科学賞・音楽賞の創設…秀でた研究や活躍を表彰  
※子どもや若者等の活動支援を目的とした**小松市エール協力金(ふるさと納税)**を活用

### 5.取組の活動予定・スケジュール

- **高校生・大学生等学習エールの場合**  
5月上旬 企画立案・制度設計  
5月中旬 申請受付開始(郵送・オンライン)※受付より5日以内に支給  
7月末 受付終了予定

### 6.関連するゴール



### 7.取組イメージ

**明るい未来を拓いていく若い世代の「学びの力」を持続&向上**

まち全体で、子どもたち・若者の学びのモチベーションと健やかな成長を応援

**大学・専門学校等**

**高校生**

**中学生**

**小学生**

**未就学**

**高校生・大学生等学習エール**

【支給実績】  
約4,700人支給  
※対象 5,500人～6,000人程度  
大学生等は80%以上がオンライン申請

**子どもの食育奨励給付金**

【支給実績】  
未就学児：約5,400件  
小中学生：約7,000件  
※対象 未就学児：約5,500件  
小中学生：約7,100件

**独自の大会・発表会・表彰 など**

**地域のスポーツ・音楽等の団体**

開催に向けた準備・当日運営

**ふるさと納税・市民・企業・市など**

資金の一部補助・運営の補助

## 感染症予防に向けた経営モデルチェンジ支援事業の拡充

自治体名：石川県小松市

<b>1.取組タイプ</b>		<b>2.地域課題・実施目的</b>	本市では、進展する国際化や社会変化への対応力を地域産業全体で高め成長することが、SDGsの理念にも即して重要と捉え、企業のビジネススタイルの変革を進める「経営モデルチェンジ支援制度」をかねてより展開してきた。 しかし、感染症の猛威とともに、従来のスピードを超えた変革が求められる中、本制度を <b>柔軟・大幅に拡充</b> し、あらゆる産業の新しい社会に向けた対応力強化を一気呵成に押し進めていく。
I	普及啓発		
II	新規プロジェクト		
III	官民連携		
IV	市民サービス		
		<b>3.取組の概要</b>	感染拡大防止に向けた店舗の衛生環境の確保や労働生産性の改善など設備投資に係る経費に対して一部補助するもの。
V	その他		

### 4.取組の詳細

#### 経営モデルチェンジ支援事業の拡充

- 衛生環境向上支援事業(飲食店向け)
  - ・店舗の衛生環境を確保するため設備投資を支援  
例)次亜塩素酸加湿器、除菌脱臭装置 など
- テレワーク導入支援事業(全業種)
  - ・「テレワーク」実施するための環境整備を支援  
例)通信機器の導入・運用費 など
- 緊急衛生環境維持事業(施設やサービス業など)
  - ・公衆衛生の環境維持のための設備投資を支援  
例)自動水栓、洗浄トイレ など

⇒あわせて、『**キープディスタンス 入場定員ハーフ作戦**』をみんなで実行  
 ・対面ビジネスで着席定員数を半分以下に減員し営業する中小・個人事業者など、協力店舗に協力金の給付および市独自のステッカーを配布  
 ⇒市独自の『**Go Around こまつ**』商品券を発行し、地元消費を喚起

### 5.取組の活動予定・スケジュール

4月中旬 衛生環境向上支援事業・テレワーク導入支援事業を拡充  
 5月初旬 緊急衛生環境維持事業を拡充 ※2月まで遡及可能  
 8月末 受付終了

### 6.関連するゴール



### 7.取組イメージ

**コロナ後の新しい社会に向けて、たくましい事業所をつくり  
地域・産業や経済の持続性を高める**









# 「地方創生SDGs推進による新型コロナウイルスの影響への取組事例」 調査票

## おうちでしあわせプロジェクト（テイクアウト・デリバリー専用プレミアム付きチケット販売）

自治体名：福井県鯖江市（鯖江商工会議所青年部）



<b>1.取組タイプ</b>		<b>2.地域課題・実施目的</b>	「誰一人取り残さない」というSDGsの理念にもとづき、市民、企業、行政が連携して持続可能なまちづくりを目指す中、市民の有志が新型コロナウイルスの影響で苦境にあえぐ市内の飲食店を支援しようとテイクアウトと宅配が可能な飲食店を紹介するサイトを開設。これらを活用し、テイクアウト・デリバリー専用のプレミアム付きチケットを販売することで、自粛生活をしながらも、消費者も商業者も笑顔になってもらうと同時に、停滞している経済活動の活性化を図る。
I	普及啓発		
○	II	新規プロジェクト	<b>3.取組の概要</b>
○	III	官民連携	
○	IV	市民サービス	
○	V	その他	
		感染防止のため、Webとはがきにより申し込みを受け付け、チケットを発送。利用有効期間内に、鯖江市内の利用対象店舗にて利用する。	

### 4.取組の詳細


市民の笑顔

経済の活性化

持続可能なまちづくり


市のHPに掲載されているテイクアウト・デリバリー店舗で利用できるプレミアム付きチケットを販売。

- 【販売品】3,000円分チケット（500円券×6枚）
- 【販売価格】2,000円（1人2冊まで）
- 【対象者】どなたでも購入可能 ただしチケット受取先が市内に限る
- 【販売数】Web申込 2,500冊（先着順）  
はがき申込 500冊（申込多数で抽選） ※使用期限あり


市民・企業・行政の連携


鯖江市内のテイクアウト・デリバリーの情報をまとめたウェブサイト（「TAKEOUT さばえ」）は無料で市民の有志が開設。鯖江商工会議所青年部と市が連携し、「さばえプレミアム付きテイクアウト券発行事業実行委員会」を設置し、企画・運営を実施。

### 5.取組の活動予定・スケジュール

- 5月 1日～ 申込受付開始
- 5月14日 申込締切（Web申込は即日完売 はがき申込は申込多数で抽選）
- 7月31日 チケット使用期限
- 6月25日～ 第2弾「さばえでおトク券」抽選販売開始

### 6.関連するゴール







### 7.取組イメージ



「持続可能なめがねのまちさばえ」のため「チームさばえ」で！

市民の有志が市内の飲食店の店主の発案でウェブサイトを開発。本市と連携し、掲載店舗を募る。（サイトのプラットフォームを無償提供したことで、取組みは、福岡県久留米市、埼玉県川越市など、全国40か所に波及）



さばえプレミアム付きテイクアウト券の配布

自力で注文が難しい商品を取りに行けない




第2弾

市内NPOが外出を自粛する高齢者の孤立化を心配し、お買い物やテイクアウトの代行サービスを開始。

飲食店だけでなく、市内店舗で利用できるプレミアム付き商品券「さばえでおトク券」を販売し、小規模店を支援



テイクアウト・デリバリーの利用促進  
市内の経済活動の活性化  
使用期限を設けて、販売促進



## 学校給食費の無償化等事業

自治体名：福井県鯖江市

<b>1.取組タイプ</b>		<b>2.地域課題・実施目的</b>	「誰一人取り残さない」というSDGsの理念にもとづき、新型コロナウイルス感染症拡大の影響の状況下においても、市内の小中学生が安心して、学校生活を送れるよう、児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減し、教育の充実に資するとともに、子育てを支援することを目的とする。
	I 普及啓発		
○	II 新規プロジェクト	<b>3.取組の概要</b>	令和2年度の学校給食費の保護者負担分の範囲内での無償化または助成。
	III 官民連携		
○	IV 市民サービス		
	V その他		

### 4.取組の詳細



「誰一人取り残さない」SDGsの推進  
子どもたちに安心した学校生活を！  
児童・生徒の健全な食生活の推進  
子育てに対する経済的負担や軽減を図る



- 無償化の対象者  
鯖江市内の小学校・中学校に在籍し、鯖江市内に住所を有する児童・生徒の保護者
  - 助成の対象者  
国公立・私立を問わず、鯖江市外の小学校・中学校（義務教育学校を含む）に在籍し、鯖江市内に住所を有する児童・生徒の保護者
- ※ 市内の学校に在籍していても、鯖江市外に住所を有する児童・生徒は対象外
- ※ 対象者は、令和2年4月1日現在、鯖江市内に住所を有する方とし、それ以降、市外に転出した場合は、無償化や助成の対象にはならない

次世代の育成・持続可能なまちづくりへ



### 5.取組の活動予定・スケジュール

令和2年6月～令和3年3月まで  
(4,5月分として1人当たり、1万円の子育て応援金を支給)

### 6.関連するゴール



### 7.取組イメージ

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の4つの基本目標  
「魅力ある雇用の創出」「若者が住みたくなるまちの創造」  
「若くて元気なまちの創造」「安心して快適に暮らせるまちの創造」



## 新型コロナウイルス対策グッズ「つくる」と「買う」を応援します！

自治体名：福井県鯖江市

<b>1.取組タイプ</b>		<b>2.地域課題・実施目的</b>	経済・社会・環境の好循環が生まれる、持続可能な「めがねのまちさばえ」を目指し、新型コロナウイルスの影響で基幹産業の眼鏡や越前漆器の受注が減少し、疲弊している鯖江のものづくり産業を盛り上げ、継続させるため、市内で企画、開発された新型コロナウイルス感染防止グッズの開発や購入費に対し補助金を設置した。
	I 普及啓発		
○	II 新規プロジェクト	<b>3.取組の概要</b>	市内で企画、開発された感染防止グッズの開発費に対し補助を行い、鯖江産地の技術を活かした、新型コロナウイルス感染防止グッズの商品化を目指す取組みを支援する。また、これらの商品を顧客と対面型の営業を行う小規模事業者が購入する費用に対し補助を行い、営業継続、再開に向け導入する感染拡大防止のための取組みを支援する。
○	III 官民連携		
○	IV 市民サービス		
○	V その他		

### 4.取組の詳細



【新型コロナウイルス感染防止グッズ商品化支援補助金】  
 令和2年4月1日～12月31日に事業開始（契約・発注・支払）した取組  
 ・補助額 1者のみの場合 上限30万円  
           2者以上の場合 上限60万円  
 ・補助率 3/4   ・補助対象経費は、開発・試作に関するものに限る  
 ・補助対象経費総計が5万円以上（税抜）から補助対象事業とする

【小規模事業者感染拡大防止対策事業補助金】  
 令和2年4月1日～令和3年3月31日に事業開始（契約・発注・支払）した取組  
 ・補助額 1者あたり 上限10万円 ※交付申請は1事業者あたり1回限り  
 ・補助率 4/5  
 ・鯖江市内で開発・製造・加工された新型コロナウイルス感染防止対策商品を購入した経費に限る  
 ・補助対象経費総計が3万円以上（税込）から補助対象事業とする

### 5.取組の活動予定・スケジュール

【新型コロナウイルス感染防止グッズ商品化支援補助金】  
 申請期間 令和2年6月1日～8月31日  
 【小規模事業者感染拡大防止対策事業補助金】  
 申請期間 令和2年6月1日～令和3年3月31日

### 6.関連するゴール



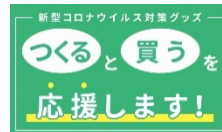
### 7.取組イメージ

眼鏡・繊維・漆器の三大地場産業を中心とした **ものづくりのまち**  
 多くの中小・零細企業により **雇用・就労環境が成り立っているまち**

新型コロナウイルス感染拡大により・・・  
**小売店の休業などによる製造の停止 売上げの減少 工場の休業**  
**対面型の営業を行う飲食店などの休業**

### 地域経済が衰退！→ピンチをチャンスに！

鯖江のものづくりの技術を活かせないか！  
 市内の商店街や小売店で使ってもらおう！  
 PR効果をねらおう！



地域経済循環型の持続可能なまちづくり





## 食べ支えプロジェクトを中心とした取組み

自治体名：愛知県豊橋市

<b>1.取組タイプ</b>		<b>2.地域課題・実施目的</b>	新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛、休業要請により、特に飲食店の経営が厳しい状況に置かれている。市民が安心して店舗を利用できるシステムを構築し、事業者の経済活動を支えるとともに、市民の新たな外食様式・生活スタイルを提案することで、安全で持続的な生活の確保につなげる。
	I 普及啓発		
○	II 新規プロジェクト	<b>3.取組の概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テイクアウトやデリバリーが可能な飲食店を紹介するサイトをまとめ、SNS等で発信</li> <li>・「豊橋市新型コロナ通知システム」の運用により、店舗利用者の不安軽減とクラスター発生時の早期対応</li> <li>・収入が激減した世帯へのフードバンク食料配布</li> </ul>
○	III 官民連携		
○	IV 市民サービス		
○	V その他		

### 4.取組の詳細

- 【経済活動と雇用の維持】東三河食べ支えプロジェクト@豊橋  
外食を自粛する市民と飲食店をつなぎ、まちの賑わいを取り戻すとともに市民生活を豊かにすることを目的として、地元企業の声掛けにより開始。紹介サイト「#おいしいカタログ」には200店舗以上が登録。地元タクシー協会と連携した配送サービス「ちよいタク」も実施している。
- 【健康的な生活の確保】「豊橋市新型コロナ通知システム」運用  
飲食店を利用する際の市民の不安を軽減するため、万が一利用店舗で感染者が発生した場合はメールで知らせ、注意喚起を促すシステムを導入した。
- 【安全で栄養のある食料の提供】フードバンク食品配布  
新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少し生活に困っている世帯に対し、フードバンクで集まった米や缶詰などを配布した（200世帯）。

### 5.取組の活動予定・スケジュール

- 東三河食べ支えプロジェクト@豊橋  
4月11日 サイト公開  
5月29日 タクシー協会と連携したサービススタート
- 「豊橋市新型コロナ通知システム」運用  
6月16日 市関係施設から運用開始
- フードバンク食品配布  
5月14日～16日 配布

### 6.関連するゴール



### 7.取組イメージ

コロナを乗り越えてまちの賑わいを取り戻すため、企業・市民・行政が連携して相互に支えあい、持続可能なまちづくりを目指す。



### 関連URL

<https://www.neophoenix.jp/oishii-catalog/>, <https://www.city.toyohashi.lg.jp/42336.htm>



## みみたろうキャラバン隊派遣事業（多文化共生推進事業）

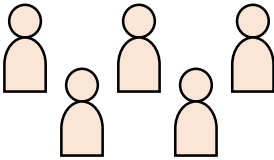




自治体名：滋賀県

<b>1.取組タイプ</b>		<b>2.地域課題・実施目的</b>	本県には、30,000人以上の外国人が居住している中、新型コロナウイルス感染症の影響により、県・市町の相談窓口への生活相談が増加しているが、言葉の壁により、情報不足になりがちであることや、各種支援制度の申請手続きに困難をきたすケースもある。そのため、「誰一人取り残さない」SDGsの理念に基づき、多言語対応可能なサポーターを県内市町等に派遣し、外国人県民等が、各種支援制度を活用しながら、生活の安定が図れるよう、きめ細やかな支援を実施する。								
	<table border="1"> <tr> <td>I</td> <td>普及啓発</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>II 新規プロジェクト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>III 官民連携</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>IV 市民サービス</td> </tr> <tr> <td></td> <td>V その他</td> </tr> </table>			I	普及啓発	○	II 新規プロジェクト		III 官民連携	○	IV 市民サービス
I	普及啓発										
○	II 新規プロジェクト										
	III 官民連携										
○	IV 市民サービス										
	V その他										
<b>3.取組の概要</b>		多言語対応可能なキャラバン隊（大学生や外国籍学生・留学生を含む）を県内市町に派遣し、外国人県民等に寄り添った、きめ細やかな支援を行う。									

<b>4.取組の詳細</b>
<p>多言語対応可能な大学生や留学生らから構成される「みみたろうキャラバン隊」を県内各所に派遣し、新型コロナウイルス関連情報の提供、各種支援制度およびしが外国人相談センターの利用促進、生活での不安や困りごとの聞き取り調査を行うことで外国人県民等に寄り添った支援活動を行い、SDGsの「人や国の不平等をなくそう」を実現する。</p> <p>◆活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給付金等申請手続きや窓口での通訳補助</li> <li>・外国人県民等が求める支援等に関する対面調査</li> <li>・しが外国人相談センターの宣伝および利用促進</li> </ul> <p>◆目指している成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種支援制度の利用促進</li> <li>・しが外国人相談センターを身近な存在に</li> <li>・中長期的な支援策を検討するためのニーズ把握</li> <li>・将来の多文化共生社会を担う人材育成</li> </ul>

<b>5.取組の活動予定・スケジュール</b>
<p>活動期間：令和2年6月～令和3年2月（9か月間）</p> <p>活動方法：サポーター5名が県内各域を巡回（市役所・支所内を想定）</p> <p>対応言語：ベトナム語、スペイン語、タガログ語、英語、ポルトガル語、中国語、等</p>

<b>6.関連するゴール</b>	
------------------	---


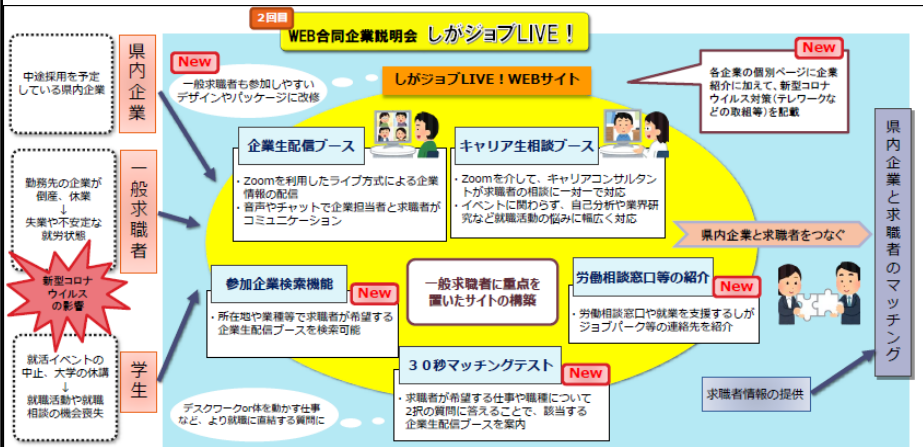
<b>7.取組イメージ</b>	
<p><b>みみたろうキャラバン隊</b></p> <p>多言語対応可能なサポーター</p> 	<p>市町などを巡回</p>  <p><b>市役所</b></p>  <p>申請書</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・給付金等申請手続きや窓口での通訳補助</li> <li>・外国人県民等が求める支援等に関する対面調査</li> <li>・外国人相談センターの宣伝および利用促進</li> </ul>
<p>キャラバン隊による支援の様子（写真）</p> 	

## WEB合同企業説明会開催事業

自治体名：滋賀県

<b>1.取組タイプ</b>		<b>2.地域課題・実施目的</b> 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面型の合同企業説明会等の就活イベントが相次いで中止されており、学生と県内企業の出会いの場が失われている。これに対し、若者の雇用の確保と働きがいの創出および持続可能な経済成長を実現するため、WEB上で合同企業説明会を開催し、学生の就職活動支援と県内企業の人材確保支援を行うことを目的とする。さらに、新型コロナウイルスによる経済状況の悪化に伴い、不安定な就労状態にある一般求職者の就労も同時に支援する。
I	普及啓発	
○	新規プロジェクト	
III	官民連携	
IV	市民サービス	
<b>3.取組の概要</b>		WEB上に専用サイトを作成し、そこで求職者と県内企業が双方向のやり取りができる仕組みを構築する。

<b>4.取組の詳細</b>
WEB合同説明会専用サイトに以下の多様な機能を持たせ、学生や一般求職者と県内企業のマッチング機会を提供することで、SDGsの「働きがいも経済成長も」を実現する。
○企業配信ブース ・Zoomを利用したライブ方式による企業情報の発信 ・音声やチャットで企業担当者と求職者がコミュニケーション
○キャリア相談ブース ・Zoomを介して、キャリアコンサルタントが求職者の相談に一对一で対応 ・イベントに関わらず、自己分析や業界研究など就職活動の悩みに幅広く対応
○マッチングテスト ・2択の質問に答えることで、自分が希望する働き方に近い企業や相性の良い企業担当者のいる配信ブースを案内
<b>5.取組の活動予定・スケジュール</b>
5月26日、27日、28日 WEB合同説明会 1回目（学生向け） 7月22日、23日 WEB合同説明会 2回目（一般求職者向け）

<b>6.関連するゴール</b>	
<b>7.取組イメージ</b>	WEB合同説明会 2回目（一般求職者向け）取組イメージ
	

**関連URL** <https://shiga-job.live/>

## 「Buy Local maizuruキャンペーン」推進事業

自治体名：京都府舞鶴市

<b>1.取組タイプ</b>		<b>2.地域課題・実施目的</b>	新型コロナウイルス感染症の感染防止のための外出自粛や営業時間短縮要請を受けたことにより、市内の事業者・生産者に多大な影響が及んでいる。市民に地元の商店等での買い物を促し、一人ひとりの消費行動に変化を生み出すことで事業者・生産者の事業継続を支援するとともに、強靱で良質な商いを育成することで、住み続けられるまちづくりに必要な地域経済の維持・強化を目指す。
	I 普及啓発		
○	II 新規プロジェクト	<b>3.取組の概要</b>	市内での消費を喚起するため、「バイ・ローカル」を合言葉に商工会議所や観光協会、市が連携し、下記の取組を実施。 ①頑張っている事業者・生産者の情報を発信する「応援サイト」の開設 ②寄付や先払商品券「まいづる Local チケット」等の購入ができる「特設サイト」の開設
○	III 官民連携		
	IV 市民サービス		
	V その他		

### 4.取組の詳細

「パートナーシップにより地域産業を守り、住み続けられるまちづくりを推進」

#### ①外出自粛や営業時間短縮要請に対応しながら頑張っている事業者・生産者の情報を発信する「応援サイト」の開設

事業者が、自身のSNS（Facebook、instagram）において、ハッシュタグ「#buylocalmaizuru」を付けて発信された情報を集約し、官民のあらゆる広報媒体に掲載。情報拡大の相乗効果を狙う。

#### ②事業者・生産者への寄付や、先払商品券「まいづる Local チケット」が購入できる「特設サイト」の開設

応援したい事業者・生産者を選択し、商品券の購入または寄附を選択。支援者の善意（＝パートナーシップによる支え合いの気持ち）を形にすることをコンセプトとしており、プレミアムの付加については、各事業者の判断に委ねる（行政支援はなし）。商品券が扱えない生産者については、物品を販売することも可能。また、「寄附」については、市内からの善意のみならず、市外在住で本市にゆかりのある方からの支援の受け皿としても機能している。

### 5.取組の活動予定・スケジュール

「心が通う便利な田舎暮らし」をコンセプトに、住み続けられるまちづくりを推進するため、新型コロナウイルスによる影響の縮小後も、魅力ある商品づくりへの支援や市内での消費を喚起する取組を実施するなど、引き続き「バイ・ローカル」文化の発信を通じた地域経済の発展やパートナーシップの強化に取り組む予定。

### 6.関連するゴール



### 7.取組イメージ



- ①市民等が特設ホームページから応援する事業者を選択し、寄付又は先払い商品券を購入。
- ②協議会から寄付金及び先払い商品券販売売上金を各事業者に振り込み。
- ③先払い商品券を市民等へ発行。（寄付の方は除く）
- ④市民等が後日、先払い商品券を使用。

**関連URL** 応援サイト：<https://buylocal-maizuru.online>、「まいづる Local チケット」特設サイト：<https://maitike.com>

## 地域の魅力発信と地域活性化事業

自治体名：奈良県三郷町

<b>1.取組タイプ</b>			<b>2.地域課題・実施目的</b>	新型コロナウイルスの影響により、観光客が落ち込み、地域内消費も冷え込んだことに加え、地域コミュニティが希薄化している。SDGs推進にあたり、新規プロジェクト「地域発信型映画」を通じて、地域住民や民間企業等様々なステークホルダーと協働で取り組み、地域の魅力をアピールするとともに地域コミュニティの創出を図り、持続可能なまちづくりを推進する。
	I	普及啓発		
	○	II	新規プロジェクト	<b>3.取組の概要</b>
	○	III	官民連携	
		IV	市民サービス	
		V	その他	
<b>4.取組の詳細</b>			<b>6.関連するゴール</b>	

### 4.取組の詳細

#### 【プロジェクト内容】

映画制作ノウハウを持つ吉本興業と連携し、地域住民の方には、脚本・出演など制作全般に参加していただき、ものづくりの楽しさ、喜び、なにより地元への愛を再確認し、地域を活性化させたいという地元への熱い想いを形にする。

#### 【官民連携】

地域発信型映画プロジェクトとして、吉本興業だけでなく地域の方と一緒に制作に取り組むとともに、制作資金の一部をクラウドファンディングにより募ることで制作段階から全国へ取り組みをアピールし、関心度を高め、町の魅力を発信していく。

多様なステークホルダーとのパートナーシップにより、地域のつながりや活力を取り戻し、住み続けられるまちづくりに向けてSDGsを推進する。

### 5.取組の活動予定・スケジュール

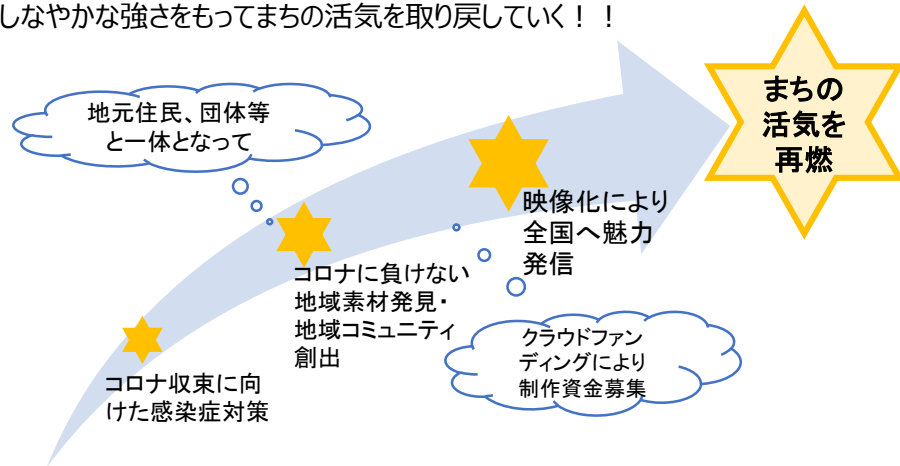
コロナ感染状況をみながら、現地にてリサーチやヒアリングを重ね、脚本の作成、映画撮影を経て年度末完成に向けて取り組む。

### 6.関連するゴール



### 7.取組イメージ

「人にもまちにもレジリエンスなスマートシティSANGO」として、住んでよし！働いてよし！訪れてよし！学んでよし！の4つを兼ね備えた、「魅力的なまち」であり続けるため、SDGs 達成に向けて、本プロモーション事業により、コロナ禍でもしなやかな強さをもってまちの活気を取り戻していく！！



### 関連URL

なし